

# 医史学関係文献目録 (五十音順)

平成5年(1993)年

順天堂大学医史学研究室編

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 01 単行本       | 20 産婦人科史  |
| 02 医学切手・書画   | 21 歯学史    |
| 03 医学教育      | 22 史跡・記念碑 |
| 04 医学用語      | 23 疾病史    |
| 05 医師会・学会    | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 06 医史学一般     | 25 種痘史    |
| 07 医の倫理      | 26 獣医学史   |
| 08 医療器械      | 27 書簡     |
| 09 医療制度史・医療史 | 28 書誌学    |
| 10 衛生・公衆衛生史  | 29 小児科史   |
| 11 解剖学史      | 30 神経学史   |
| 12 眼科史       | 31 診断学史   |
| 13 看護史       | 32 整形外科史  |
| 14 寄生虫学史     | 33 精神医学史  |
| 15 教室史       | 34 生物学史   |
| 16 軍陣医学史     | 35 西洋医学史  |
| 17 形成外科史     | 36 生化学史   |
| 18 外科史       | 37 生理学史   |
| 19 細菌学史      | 38 地方史    |

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 39 治療史              | 51 法医学史         |
| 40 伝記               | 52 放射線医学史       |
| 41 伝記(双)            | 53 本草学史・博物学史    |
| 42 伝染病史・防疫史         | 54 麻酔学史         |
| 43 東洋医学史            | 55 門人録          |
| 44 内科史              | 56 薬学史          |
| 45 皮膚科史(1)・泌尿器科史(2) | 57 蘭学史          |
| 46 病院史              | 58 リハビリテーション関係史 |
| 47 病跡学              | 59 その他          |
| 48 病理学史             | 60 中国語文献        |
| 49 風俗史              | 61 韓国語文献        |
| 50 仏教医学史            | 62 欧文文献         |

今回は05、07、14、15、17、25、31、34、36、42、45(1)、47、49、58にあたる文献はありません。

## 01 単行本

『AIDSのための138章』白染

『医学会ガイダンス』ミクス

『女性の祈りー婚姻・出産・育児の信仰と習俗ー』豊島区立郷土資料館

『内科学用語集 第4版』(社)日本内科学会編 (社)日本内科学会

『女一婚と産一民俗選書⑤』石郷岡千鶴子 秋田文化出版

『秋田の医史覚え書き <上>』石田秀一

『魯迅と藤野巖九郎』泉彪之助 芦原町教育委員会  
『茨城県医師会史<昭和後期編II>』茨城県医師会史編纂委員会  
茨城県医師会史編纂委員会  
『洪庵・適塾の研究』梅溪昇 思文閣出版  
『ナイティンゲール [その生涯と思想] I』エドワード・クック、中村妙子(訳) 時空出版  
『蘭学、その江戸と北陸—大槻玄沢と長崎浩齋—』片桐一男 思文閣出版  
『金沢大学医学部百年史以後三十年の歩み』金沢大学医学部百年史以後三十年の歩み刊行会  
『京都眼科医会60周年記念誌』京都眼科医会 思文閣出版  
『群馬大学医学部五十年史』群馬大学医学部、群馬大学医学部同窓会  
『古代インドの苦行と癒し 仏教とアーユルヴェーダの間』ケネス・G・ジスク 梶田昭(訳) 時空出版  
『ヴェネツィアの放浪教師 中世都市と学校の誕生』児玉善仁 平凡社  
『日本疾病史』酒井シヅ編 (財)放送大学教育振興会  
『からだの自然誌』坂井健雄 東京大学出版会  
『わたしたちの佐倉市3年用、わたしたちの佐倉市4年用』佐倉教育委員会  
『洋学史論考』佐藤昌介 思文閣出版  
『実学史研究 IV』実学資料研究会 思文閣出版  
『渡来薬の文化誌 オランダ船が運んだ洋薬』宗田一 八坂

書房  
『能美洞庵略伝』田中助一 溪水社  
『動物園動物の病理学—名古屋市東山動物園動物の剖検から—』千葉胤孝 近代文藝社  
『天理ギャラリー第95回展『古地図の中の日本』』天理大学附属図書館 天理ギャラリー  
『東京大学第一外科開講百年記念誌—東大第一外科の歩み、第四集—』東大第一外科同窓会  
『道修町文書日録—近世編—』道修町文書保存会 道修町文書保存会  
『素問・靈樞総索引』日本内経医学会  
『中浜東一郎日記 第3巻』中浜東一郎、中浜明 富山房  
『東翁蛭田玄仙とその産科』二宮陸雄 蛭田玄仙顕彰建碑会  
『医師のジレンマ—バーナード・ショーの医療論』バーナード・ショー、中西勉(訳) 丸善名古屋出版サービスセンター  
『歯の風俗誌』長谷川正康 時空出版  
『Medical History Through Postage Stamps』Akira Furukawa 医歯薬ユーロアメリカ  
『楽しい医学用語ものがたり』星和夫 医歯薬出版  
『兵庫医史散歩』堀内冷 兵庫県医師会  
『インスリンの発見』マイケル・プリス、堀田饒(訳) 朝日新聞社  
『高木兼寛先生業績集』松田誠  
『快適環境のフォークロア 自然と人工環境』三浦豊彦

(財)労働科学研究所出版部  
『エイズの歴史』 ミルゴ・グルメク著 中島ひかる・中山健夫訳 藤原書店  
『因伯洋学史話』 森納 富士書店  
『日本盲人史考』 森納 今井書店  
『広島修道大学研究叢書79 ドイツ・ヴィッセンシャフト移植の端緒について—官費留学生のドイツ派遣まで—』 森川潤 広島修道大学総合研究所  
『長崎出島の食文化』 箭内健次(監修) (財)親和銀行ふるさと振興基金  
『広島県山県郡医師会史下巻』 山県郡医師会史編纂委員会編 山県郡医師会  
『日本らい史』 山本俊一 東京大学出版会  
『洋学1—洋学史学会研究年報—(1992)』 洋学史学会 八坂書房  
『ミルンの日本人種論—アイヌとコロポグル』 吉岡郁夫、長谷部学 雄山閣出版

## 02 医学切手・書画

『出島図と唐人屋敷図—史料紹介 [長崎出島蘭館十禅寺唐館諸侯巡検の図] 一』 石田千尋『洋学史研究』(10)82-92  
『メディカル フィラテリー 第拾五回赤十字国際会議』 石原理年『医譚』(64)3810  
『メディカル フィラテリー 齋藤茂吉生誕百年』 石原理年

『医譚』(64)3832  
『メディカル フィラテリー 初代日赤社長・佐野常民』 石原理年『医譚』(64)3851  
『メディカル フィラテリー 黒川良安の銅碑, 第11回国際電子顕微鏡学会』 石原理年『医譚』(65)3866  
『メディカル フィラテリー 仁科芳雄の放射線生物学』 石原理年『医譚』(65)3874  
『WHO創立20年記念切手 第6回コロンビア外科学会議』 河瀬正晴『WAKO NEWS』(35)表紙  
『インシュリン発見50年記念切手 糖尿病の日記念切手』 河瀬正晴『WAKO NEWS』(36)表紙  
『国際エイズ会議記念切手 エイズ撲滅切手』 河瀬正晴『WAKO NEWS』(37)表紙  
『オランダ赤十字90年記念切手 献血推進切手』 河瀬正晴『WAKO NEWS』(38)表紙  
『医学切手美術館23 性行為とエイズ』 河瀬正晴『透析ライフ』(46)25  
『医学切手美術館24 交通安全』 河瀬正晴『透析ライフ』(47)25  
『医学切手美術館25 ノーベル生理学・医学賞』 河瀬正晴『透析ライフ』(48)25  
『医学切手美術館26 顕微鏡下の世界』 河瀬正晴『透析ライフ』(49)25  
『切手で見ると血液事業50 献血推進』 河瀬正晴『血液事業』

Blood Programme』16(1)  
 「切手で見る血液事業51 献血」河瀬正晴『血液事業Blood Programme』16(2)  
 「切手で見る血液事業52 献血推進」河瀬正晴『血液事業 Blood Programme』16(3)  
 「切手で見る血液事業53 国際赤十字創立125年記念切手」河瀬正晴『血液事業Blood Programme』16(4)  
 「切手で見る免疫血液学(81) X線」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(1)135  
 「切手で見る免疫血液学(82) 放射性同位元素」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(1)136  
 「切手で見る免疫血液学(83) 輸血とChagas病」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(2)227  
 「切手で見る免疫血液学(84) 成分献血」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(2)228  
 「切手で見る免疫血液学(85) Lectin」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(3)342  
 「切手で見る免疫血液学(86) 献血」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(3)343  
 「切手で見る免疫血液学(87) Behcet病」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(4)434  
 「切手で見る免疫血液学(88) Leishmania症と献血」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(4)435  
 「切手で見る免疫血液学(89) AIDSと自己血輸血と献血」河

瀬正晴『Medical Postgraduates』31(5)512  
 「切手で見る免疫血液学(90) 医神Apollon」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(5)513  
 「切手で見る免疫血液学(91) クラミジア感染症とAIDS」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(6)612  
 「切手で見る免疫血液学(92) 梅毒と銀療法」河瀬正晴『Medical Postgraduates』31(6)613  
 「[アスクレピオスの杖] と [ヘルメスの杖]」古川明『けんさ』22(4)23-26  
 「世界で初めて胃切除に成功したビルロート」古川明『けんさ』23(1)19-22  
 「ゼンメルワイスと産褥熱」古川明『けんさ』23(2)23-26  
 「近代的麻酔のはじまり」古川明『けんさ』23(3)27-30

### 03 医学教育

「シンポジウム(二) 医学教育における医史学のあり方と使命 ヨーロッパの医史学教育(抄)」石田純郎『日本医史学雑誌』39(1)21-22  
 「第三高等学校医学部講義(第三報)(抄)」大滝紀雄『日本医史学雑誌』39(1)94-95  
 「シンポジウム(二) 医学教育における医史学のあり方と使命 医学愛好家を育てるために(抄)」大村敏郎『日本医史学雑誌』39(1)16-18  
 「日本医科大の源流 済生学舎と石川清忠(済生学舎一私立

東京医学校—日本医科大学の創立の由来) 唐沢信安『近代の大志—杵築』(15)22-31

「明治初年の私立医学校 [済生学舎・慶應義塾医学所・成医学会講習所] について(記事)」唐沢信安『日本医史学雑誌』39(3)396

「シンポジウム(二)医学教育における医史学のあり方と使命 医学史教育を模索して(抄)」蔵方宏昌『日本医史学雑誌』39(1)14-15

「大阪における薬学校の始まり 大阪大学薬学部・大阪薬学専門学校・大阪薬科大学(抄)」中室嘉祐『日本医史学雑誌』39(1)92-93

「シンポジウム(二)医学教育における医史学のあり方と使命 医学教育における医史学の現状と将来のあり方(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』39(1)19-20

#### 04 医学用語

「ことばの由来57 キーゼルバッハ部位について」飯田収『Johns』9(10)1624-1626

「ことばの由来56 ビタミンとホルモン」岩月賢一『Johns』9(6)1072-1074

「病名の由来 ピックウィック症候群」深瀬泰旦『Medical Technology』21(1)19

「病名の由来 ミュンヒハウゼン症候群」深瀬泰旦『Medical Technology』21(2)119

「病名の由来 敗血症」深瀬泰旦『Medical Technology』21(3)188

「病名の由来 オブローモフ症候群」深瀬泰旦『Medical Technology』21(4)283

「病名の由来 伝染性単核症」深瀬泰旦『Medical Technology』21(5)365

「病名の由来 蒙古症(ダウン症候群)」深瀬泰旦『Medical Technology』21(6)457

「病名の由来 オセロ症候群」深瀬泰旦『Medical Technology』21(7)763

「病名の由来 多発性硬化症」深瀬泰旦『Medical Technology』21(8)842

「病名の由来 スモン」深瀬泰旦『Medical Technology』21(9)909

「病名の由来 エイズ」深瀬泰旦『Medical Technology』21(10)1004

「病名の由来 心気症」深瀬泰旦『Medical Technology』21(11)1074

「病名の由来 サラセミア(地中海貧血)」深瀬泰旦『Medical Technology』21(12)1145

#### 06 医史学一般

「半井本『医心方』の病名仮名訓(抄)」岩井佑泉『日本医史学雑誌』39(1)34-35

- 「医学史ミニ博物館(81)パスツールが病原体をみつけた」大村敏郎『医学のあゆみ』164(4)219
- 「医学史ミニ博物館(82)パスツールとワクチン」大村敏郎『医学のあゆみ』164(9)654
- 「医学史ミニ博物館(83)狂犬病とパスツールの愛国心」大村敏郎『医学のあゆみ』164(13)911
- 「医学史ミニ博物館(84)ルイパスツールの晩年」大村敏郎『医学のあゆみ』165(4)211
- 「医学史ミニ博物館(85)癌と蟹の絵」大村敏郎『医学のあゆみ』165(8)489
- 「医学史ミニ博物館(86)100年になるナイチンゲールの誓詞」大村敏郎『医学のあゆみ』165(13)909
- 「医学史ミニ博物館(87)南蛮人の到来と [ファブリカ] の出版—450年前のこと—」大村敏郎『医学のあゆみ』166(4)220
- 「医学史ミニ博物館(88)臨床神経学の父シャルコーの没後100年」大村敏郎『医学のあゆみ』166(9)617
- 「医学史ミニ博物館(89)ヴェサリウスとパレの骨格図伝承」大村敏郎『医学のあゆみ』166(13)843
- 「医学史ミニ博物館(90)第1回乳癌学会にちなんで華岡青洲の麻酔の花と実」大村敏郎『医学のあゆみ』167(4)235
- 「医学史ミニ博物館(91)華岡青洲の髪と紋所」大村敏郎『医学のあゆみ』167(9)709
- 「医学史ミニ博物館(92)日本消化器病学会のシンボルマークの変更」大村敏郎『医学のあゆみ』167(12,13)901
- 「和丹両流の家格について(抄)」奥富敬之『日本医史学雑誌』39(1)32-33
- 「近代医学の源流10 近代医学教育の雄・緒方洪庵」杉本つとむ『日本医師会雑誌』109(1)104-105
- 「近代医学の源流11 越歴(エレキ)から電気へ」杉本つとむ『日本医師会雑誌』109(3)384-386
- 「近代医学の源流12 日本最初の解剖事情」杉本つとむ『日本医師会雑誌』109(5)738-739
- 「世界の医療文化史(115)6.革新の世紀 ウイルヒョウ(続)」宗田一『Pharma Medica』11(1)145-148
- 「世界の医療文化史(116)6.革新の世紀 6-3.病原論医学の台頭」宗田一『Pharma Medica』11(2)131-135
- 「世界の医療文化史(117)6.革新の世紀 パストゥールとコッホ」宗田一『Pharma Medica』11(3)119-123
- 「世界の医療文化史(118)6.革新の世紀 6-3-2.病原論と外科学」宗田一『Pharma Medica』11(4)125-129
- 「世界の医療文化史(119)6.革新の世紀 リスター (Lister, Joseph, 1827-1912)」宗田一『Pharma Medica』11(5)144-148
- 「世界の医療文化史(120)6.革新の世紀 リスター(続)」宗田一『Pharma Medica』11(6)120-124
- 「世界の医療文化史(121)7.近代療法の道程 7-1.免疫療法の出現」宗田一『Pharma Medica』11(7)128-132
- 「世界の医療文化史(122)7.近代療法の道程 7-1-3.ワクチ

ン療法」宗田一『Pharma Medica』11(8)190-195  
「世界の医療文化史(123)7.近代療法の道程 7-1-4.抗毒素血清療法(続)」宗田一『Pharma Medica』11(9)226-230  
「世界の医療文化史(124)7.近代療法の道程 7-1-5.免疫学の進展(続)」宗田一『Pharma Medica』11(10)132-137  
「世界の医療文化史(125)7.近代療法の道程 7-1-6.結核対策」宗田一『Pharma Medica』11(11)224-228  
「世界の医療文化史(126)7.近代療法の道程 7-1-6.結核対策(続)」宗田一『Pharma Medica』11(12)228-232  
「医学史研究の臨床医学への応用—医学史研究のより広い理解と実践を求めて—」松木明知『日本医史学雑誌』39(4)555-572  
「医学ことわざシリーズ9 上医は、いまだ病まざる病を医し、中医は、病まん和欲するの病を医し、下医は、すでに病める病を医す」山本徳子『循環』(134)32  
「医学ことわざシリーズ10・疾病なり(疾病)」山本徳子『循環』(135)36  
「医学ことわざシリーズ11 病、膏肓に入る」山本徳子『循環』(136)36  
「医学ことわざシリーズ12 薬を売る者は二眼、薬を用いる者は一眼、薬を服する者は無眼」山本徳子『循環』(137)36  
「医学ことわざシリーズ13 薬アメリカ、医者ドイツ」山本徳子『循環』(138)36  
「医学ことわざシリーズ14 良薬は口に苦し」山本徳子『循

環』(139)36  
「医学ことわざシリーズ15 良医は福医に如かず、明医は時医に及ばず」山本徳子『循環』(140)36  
「医学ことわざシリーズ16 病は口より入り、禍は口より出ず」山本徳子『循環』(141)36  
「医学ことわざシリーズ17 上等の人は病なくして薬を服し中等の人は病ありて薬を服し下等の人は病死して薬せず」山本徳子『循環』(142)36  
「医学ことわざシリーズ18 腹八合に病なし、腹八合に医者いらず」山本徳子『循環』(143)36

## 08 医療器械

「ベントレーの生涯 顕微鏡とカメラの出会い」井山弘幸『ミクروسコピア』10(3)209-211  
「十二指腸鏡ことはじめ ERCP(胆道 膵管造影)開発の思い出」小越和栄『ミクロスコピア』10(2)86-90  
「日本の医学生んだドイツ 幕末期に内視鏡の原形」比企能樹『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)100-103  
「顕微鏡外史 カールツァイス その栄光の歴史 その五・六・七 究極への挑戦(上),(中),(下)」廣川豊康『ミクロスコピア』10(2,3,4)126-128,206-208,282-285

## 09 医療制度史・医療史

「わが国における救急医療体制の歴史的整備・発展について」

小林真佐夫『島根県立中央病院医学雑誌』20(2)131-148  
「明治初期の石川県関係内務省免許医師と医師免許制度の変遷について」赤祖父一知『北陸医史』14(1)54-65  
「呪禁師の実態—律令制下の呪術医療者(抄)」稻垣直『日本医史学雑誌』39(1)90-91  
「〔耳囊〕に記録された民間療法」浜田善利『日本医史学雑誌』39(2)179-216  
「Entireが語る庶民医療史(13) 明治32年」正木繁『MODERN MEDICINE』22(1)89-91  
「Entireが語る庶民医療史(14) 明治35年」正木繁『MODERN MEDICINE』22(2)77-79  
「Entireが語る庶民医療史(15) 明治37年」正木繁『MODERN MEDICINE』22(3)75-77  
「Entireが語る庶民医療史(16) 明治39年」正木繁『MODERN MEDICINE』22(4)91-93  
「Entireが語る庶民医療史(17) 明治41年」正木繁『MODERN MEDICINE』22(5)63-65  
「Entireが語る庶民医療史(18) 明治42年」正木繁『MODERN MEDICINE』22(6)87-89  
「Entireが語る庶民医療史(19) 明治43年」正木繁『MODERN MEDICINE』22(7)73-75  
「Entireが語る庶民医療史(20) 明治45年」正木繁『MODERN MEDICINE』22(8)89-91

## 10 衛生・公衆衛生史

「産業精神保健の歴史と展望〔産業精神保健研究会〕の歩み」加藤正明『こころの臨床ア・ラ・カルト』12(増刊)2-7  
「じん肺の歴史より(会議録)」吉野貞尚『産業医学』35(3)231  
「日本医師会小史 第107回 明治期医事 No.1人物物語—医師会前史 その53—」青柳精一『日本医師会雑誌』109(2)239-241  
「日本医師会小史 第108・109回 明治初年から医師法制定までの医事年表(1),(2)」青柳精一『日本医師会雑誌』109(4,6)562-565,894-897  
「黎明期の労働衛生史 <113> [鉄鋼] に生きた人々 労働衛生④一酸化炭素中毒(下)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(197)2  
「黎明期の労働衛生史 <114> [鉄鋼] に生きた人々 労働衛生⑤熱中症(1)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(202)3  
「黎明期の労働衛生史 <115> [鉄鋼] に生きた人々 労働衛生⑥熱中症(2)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(205)3  
「黎明期の労働衛生史 <116> [鉄鋼] に生きた人々 労働衛生⑦熱中症(3)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(206)3  
「黎明期の労働衛生史 <117> [鉄鋼] に生きた人々 労働衛生⑧熱中症(4)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(208)4  
「明石博高にみる〔衛生〕政策(抄)」小野尚香『日本医史学雑誌』39(1)112-114

「[公衆衛生]はどのように発展したか」杉山章子『新視点 日本  
の歴史 第7巻現代編(新人物往来社)』294-299  
「緒方惟準と海水浴説」宗田一『医譚』(64)3817-3820  
「近代日本における社会衛生学理論(抄)」瀧澤利行『日本医  
史学雑誌』39(1)110-112  
「文明は病気を変える36-37」松藤元『労働衛生ジャーナル』  
(201,204)3,3  
「続サテライト通信(38)ガリレオ・ガリレイの名誉回復」三  
浦豊彦『労働の科学』48(3)174-175  
「続サテライト通信(39) [鉄鋼 労働衛生] 誌と僕」三浦豊  
彦『労働の科学』48(4)238-239  
「続サテライト通信(40)地震」三浦豊彦『労働の科学』48(5)  
298-299  
「続サテライト通信(43)またまた敗戦忌」三浦豊彦『労働の  
科学』48(8)506-507  
「続サテライト通信(44)死なせてくれる医師」三浦豊彦『労働  
の科学』48(9)574-575  
「90年代の訪問(37)(財)野間科学医学研究資料館・再訪(Ⅰ)  
—資料館収蔵の幾つかの資料—」三浦豊彦『労働の科学』  
48(6)345-349  
「90年代の訪問(38)(財)野間科学医学研究資料館 再訪(Ⅱ)  
—古典的な公衆衛生・労働衛生関係資料—」三浦豊彦『労働  
の科学』48(7)405-409  
「90年代の訪問(41)松下東京健康管理センター松下産業衛生

科学センター東京支店」三浦豊彦『労働の科学』48(10)  
614-617

「工具による振動障害の歴史(抄)」三浦豊彦『日本医史学雑  
誌』39(1)108-110  
「労働観私論(Ⅲ)—18~19世紀の日本の労働観—」三浦豊彦  
『労働科学』69(7)286-302  
「労働観私論(Ⅳ)—19世紀後半, 明治初年の日本労働観—」  
三浦豊彦『労働科学』69(11)504-524

## 11 解剖学史

「脳室解剖の歴史」酒井シヅ『Clinical Neuroscience』11(8)  
836-838  
「変遷する解剖書—ルネッサンスからコンピューターまで  
—」佐藤達夫『メディカル朝日』22(9)80-82  
「解体新書の手足剖出図異聞」中原泉『日本歯科医史学会々  
誌』19(3)91-96  
「立証! 解体新書の扉の元絵」中原泉『日本歯科医史学会々  
誌』19(2)62-70  
「四国における人体解剖の夜明け」福島義一『日本医事新報』  
(3628)63-66  
「脳を固める, 切る, 染める—先人の知恵—(第1回)」萬年  
甫『BRAIN MEDICAL』5(3)309-312

## 12 眼科史

「我国の眼科文献集—第一報—(抄)」奥沢康正『日本医史学雑誌』39(1)66-67

## 13 看護史

- 「看護診断の発達と歴史的背景」飯島喜子、江本愛子『クリニカルスタディ』14(5)410-413
- 「看護史への誘い なぜ、今歴史なのでしょう？ 看護史を見直してみよう」坂本玄子『看護学雑誌』57(3)210-213
- 「看護と看護教育の歴史的検討 わが国における看護婦養成教育の変遷」杉森みど里『教育と医学』41(3)210-216
- 「看護史への誘い 人の生き方に興味を持とう 歴史を身近なものに」高田節子『看護学雑誌』57(3)214-216
- 「医制120年「産婆制度を考える」—現行看護教育制度と助産婦教育カリキュラムの動向」高橋みや子『日本看護歴史学会会報』(15)1
- 「看護史への誘い 歴史の中に見えるもの」平尾真智子『看護学雑誌』57(3)217-220
- 「中世ヨーロッパの思想 Six non naturalsとナイチンゲールの看護思想について(記事)」平尾真智子『日本医史学雑誌』39(4)596-597
- 「明治期における看護婦養成の実情—年代別にみた看護婦養成施設の開設状況から」平尾真智子『第37回教育史学会集録』44-45

## 16 軍陣医学史

- 「[対ベルギー10日間戦争](1831年8月2日～12日)の際の病人とけが人の処置」石田純郎『醫譚』(64)3852-3853
- 「山下門内兵隊假病院について(抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』39(1)82-83
- 「明治期の陸軍看護システム」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』39(4)523-542
- 「[横浜軍陣病院]の歴史地理的再検討」中西淳朗『神奈川県医師会雑誌』22(1)
- 「杉並和泉町・大円寺について—一戊辰薩藩戦死者墓と三士碣銘碑—」中西淳朗『保険医の臨床』(339)25-31
- 「第八師団歩兵第五連隊の雪中行軍の医学的考察—新発見の資料による山口少佐の死因の再検討—」松木明知『日本医史学雑誌』39(3)291-314

## 18 外科史

- 「日清・日露戦役時の恩賜の義肢—松山俘虜收容所を中心に(抄)」石原理年『日本医史学雑誌』39(1)98-100
- 「[紅夷流道具集解総図式]成立へのスクルテタスの外科書とパレ外科全集の影響(抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』39(1)48-50
- 「乳癌の再発対策」酒井シヅ『Mamma』(15)表2
- 「リスターの消毒法と乳癌手術」酒井シヅ『Mamma』(16)表2
- 「再発の原因を追求したCharles Moore」酒井シヅ『Mamma』

(17)表2

「結核外科における肋膜外合成樹脂充填術(抄)」藤倉一郎、  
藤倉知子『日本医史学雑誌』39(1)114-116

## 19 細菌学史

「遠藤培地の創設者・遠藤滋(抄)」土屋重朗『日本医史学雑誌』39(1)102-104

「ベストとわが国」長門谷洋治『日本医事新報』3615)97

「新聞に見る昭和25年のシラス中毒事件—腸炎ビブリオ発見の端緒—(抄)」長門谷洋治、坂上俊之『日本医史学雑誌』39(1)104-106

## 20 産婦人科史

「心身相関とは何か 心と体のかかわり 心身相関の歴史」  
中川哲也『心身医療』5(6)757-763

「助産婦の歴史(113-124)」石原力『ペリネイタルケア』12(1-12)70-71, 176-177, 262-263, 360-361, 454-455, 548-549, 624-625, 736-737, 800-801, 916-917, 1006-1007, 1094-1095

「健康と医学—生殖医学」蔵方宏昌『ブリタニカ国際年鑑1993』ティービーエス・ブリタニカ年鑑』300-301

「日本最古の産婦人科専書(抄)」小曾戸洋『日本医史学雑誌』39(1)74-76

「阿波賀川家門人帳について」杉立義一『啓迪』(11)6-12

「江戸時代末期より明治初期の産婆教育—長谷川泰と東京府

間の往復文書と他文献に見る産婆個人の教育より」高橋みや子『日本看護研究学会雑誌』16(臨時増刊)92

「近代日本における産婆教育・産婆資格制度成立過程に関する研究」高橋みや子『平成4年度三島海運記念財団研究奨励金による研究成果報告書』(30)138-143

「東京府病院産婆教授所の本免状産婆教育に関する研究—明治9~11年、新聞の産婆志願者募集広告および長谷川泰と東京府間の往復文書より」高橋みや子『看護教育学研究』2(1)1-11

「西尾幾治『看護婦養成の実際』(1939)について」長門谷洋治『北陸医史』14(1)48-53

## 21 歯学史

「歯科用薬品の歴史 基礎と臨床(1)歯/硬組織・象牙質消毒剤 CCについて 臨床編」荒木孝二、須田英明『歯科ジャーナル』37(2)263-267

「中国口腔医学の源流(抄)」陶粟爛『日本歯科医史学会々誌』19(4)170-176

「わが国における注射に関する成書について(抄)」石橋肇、吉村宅弘、武田和久、佐久間優、鈴木邦夫、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)166-167

「明治年代におけるベストセラーの医書—日本薬局方備考について(抄)」石橋肇、米長悦也、金子守男、池田かのり、鈴木邦夫、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)158-159

「戦前本邦における口腔衛生学書発達の比較書誌学的研究 (抄)」太田実、森山徳長、塩津二郎、福本裕、真木吉信『日本歯科医史学会々誌』19(4)136-137

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第1報—ブリティッシュ・コロンビア州を中心として—」尾島光栄、Kenji Kenneth Shimizu『日本歯科医史学会々誌』19(3)103-109

「松本隆著『歯科介補の實際』(抄)」落合俊輔、吉井秀鑄、渡辺有子、金城喜代美、鈴木邦夫、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)161-162

「I.C.D.創設者Louis Ottofyのフィリッピンにおける活動とその書誌学的研究(抄)」春日芳彦、森山徳長、高添一郎、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』19(4)140-141

「グットマンのダイナミック歯科治療学(抄)」金子義郎、豊永寿弘、松中祐二、岩井貞雄、嶋村昭辰、上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』19(4)146-147

「渡邊房吉著『臨牀救急療法』について(抄)」金城喜代美、石橋肇、谷津徳男、庵原正彦、鈴木邦夫、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)162-163

「平戸における [パレ外科全集] について(1)(抄)」上瀉口武、嶋村昭辰、内田康也、梶山稔『日本歯科医史学会々誌』19(4)144-145

「1888年ベルリン衛生研究所における北里柴三郎の写真について(抄)」上西秀則、上瀉口武、萩原義郷、石木哲夫、内山長司『日本歯科医史学会々誌』19(4)145-146

「昭和初期に始まった歯科材料規格検定とその後の発展(抄)」亀谷博昭、小坂剛也、市之川武、大山萬夫、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』19(4)133-134

「戦前本邦で発行された歯科理工学書の比較書誌学的研究(抄)」亀谷博昭、森山徳長、太田実、小幡哲夫、竹島弘道『日本歯科医史学会々誌』19(4)134-135

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 朝比奈藤太郎(1867-1941)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』12(8)1713-1716

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 伊澤道盛、小幡英之助、高山紀齋、中原市五郎、血脇守之助」榊原悠紀田郎『The Quintessence』12(1)123-126

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 牧謙治、寺木定芳、柴田伊之助、原玄了、前田慶次」榊原悠紀田郎『The Quintessence』12(2)357-361

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 藤原市太郎(1864-1938)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』12(3)595-598

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 緒方六治(1872-1950)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』12(4)829-832

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 小林富次郎(二世)(1872-1958)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』12(5)1043-1046

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 國永正臣(1876-1967)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』12(6)1253-1256

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 佐藤運雄(1879-1964)」榊原悠紀田郎『The Quintessence』12(7)1487-1490

「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 大久保潜龍(1871-1942)」榊原悠紀田郎『The Quintessense』12(9)1915-1919  
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 中尾清太郎(1873-1964)」榊原悠紀田郎『The Quintessense』12(10)2161-2165  
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 一井正典(1862-1928)」榊原悠紀田郎『The Quintessense』12(11)2379-2383  
「列伝 歯科を支えた偉大な人物史 遠藤為吉(1863-1942)」榊原悠紀田郎『The Quintessense』12(12)2605-2609  
「警官用救急法書について(抄)」佐久間優、渋谷鉦、小澤準、池田かのり、鈴木邦夫、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)163-164  
「明治大正期医術開業者試験受験書の比較書誌学的研究(抄)」塩津二郎、森山徳長、亀谷博昭、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』19(4)130-131  
「第9回日本医学会会誌にみられる医史学的事項(抄)」渋谷鉦、大場重信、吉田和子、渋谷幸男、吉井秀壽、鈴木邦夫、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)168-169  
「第9回日本医学会会誌にみられる歯科的事項(抄)」渋谷鉦、村木春長、武藤ゆう、渋谷幸男、石橋肇、鈴木邦夫、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)167-168  
「『ドクター・ヴァンデンボルグの古跡を訪ねて』—日本歯科医学界の先達三人を育てた男—(抄)」渋谷敦、松本晉一『日本歯科医史学会々誌』19(4)137-138  
「石膏鑿溝器(抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』19(4)

143-144

「開国と木床義歯(抄)」新藤恵久、長谷川弥、大野蕭英『日本歯科医史学会々誌』19(4)150  
「『毫盞独話』(杉田玄白)にみえる歯科記述(抄)」杉本茂春『日本歯科医史学会々誌』19(4)154-155  
「『人体の歯とその疾患』とその著者について(抄)」高山直秀『日本歯科医史学会々誌』19(4)141-142  
「フィリップ・プファック著『人体の歯とその疾患』の構成」高山直秀『科学医学資料研究』231(1-6)  
「幻の東京歯科大学〈市川短期大学〉の構想」戸沢行夫、森山徳長、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』19(3)110-113  
「『玉葉』に表れる口歯の医療について(抄)」戸出一郎『日本医史学雑誌』39(1)36-37  
「『玉葉』並びにその時代における抜歯の記録について(抄)」戸出一郎、別部智司、佐藤恭道、森田武、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』19(4)151-152  
「古代における蛭飼について(抄)」戸出一郎、別部智司、佐藤恭道、森田武、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』19(4)152-153  
「Gysi Adaptable 咬合器とその呼称について(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』19(4)148  
「ヴェサリウスのthe Epitome(抄)」中原泉『日本歯科医史学会々誌』19(4)141

- 「傷寒論の六経と歯科との関連について(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』19(4)157
- 「方輿輓と歯科について(その2)(抄)」西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』19(4)157
- 「歯科領域における本草考」西巻明彦、屋代正幸、湯浅高行、飯淵良幸、江端巖、内藤尚孝、立浪昭夫、佐沢史朗『日本歯科医史学会々誌』19(4)177-181
- 「痲瘡神の詫び証文の時代考証とその原典と思われる談議本について(抄)」長谷川弥、新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』19(4)155-156
- 「歯吹如来像(抄)」長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』19(4)127
- 「[第1回歯科医術開業試験委員]三瀧謙三(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)129-130
- 「明治11年に東京府が行った[歯医師外六業取調]について(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)128-129
- 「アタッチメントの発展と変遷に就いて(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』19(4)149
- 「黄帝内経素問にみられるヒトの一生と歯牙との関連について(抄)」藤井佳朗『日本歯科医史学会々誌』19(4)156-157
- 「中国における走馬疳について(抄)」別部智司、佐藤恭道、森田武、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』19(4)153-154
- 「わが国における義歯の発達—差首—(抄)」本山佐太郎『日

本歯科医史学会々誌』19(4)149-150

「E.Jennerの著作の経年的・書誌学的分析」森山徳長、塩津二郎、奥田克爾、高添一郎『日本歯科医史学会々誌』19(4)182-187

「過去35年間の新制東京歯科大学校地・建物の変遷について(抄)」山岸東太郎、森山徳長、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』19(4)139

「福島尚純著『最近鬱血療法』について(抄)」山口秀紀、渋谷敏、石橋肇、池田かのり、鈴木邦夫、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)160-161

「群馬県桐生市内(旧山田郡内)の石仏2例における、歯痛の民間信仰について(抄)」湯浅高之、藤野瑄男、小林一日出、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』19(4)158

「海軍衛生兵に関する教科書(抄)」吉井秀鑄、山口秀紀、吉田直人、江川裕之、鈴木邦夫、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』19(4)164-165

「日本最初の歯科大学創設構想とその学生運動(抄)」田辺明、森山徳長、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』19(4)131-133

## 22 史跡・記念碑

- 「和刻漢籍医書総合年表—出版者名索引—(記事)」小曾戸洋『日本医学史雑誌』39(4)573-594
- 「府下の医史蹟2,3」長門谷洋治『大阪府医ニュース』1837(3)

「医史蹟めぐり2 横浜 新史料となった官修墓地」中西淳朗  
『全医協連NEWS』(49)38-39

## 23 疾病史

- 「リウマチ病の歴史」柏崎禎夫『からだの科学 増刊』(2-5)  
「ロールシャッハ・テストのエッセンス(2) ロールシャッハ・テストの歴史」八尋華那雄『心身医療』5(4)528-530  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷59 葉診—明治から現代まで—」小野公儀『臨床科学』29(1)112-118  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷60 救命救急」田邊治之『臨床科学』29(2)264-274  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷61 乳癌」霞富士雄『臨床科学』29(3)399-410  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷62 不妊症」品川信良『臨床科学』29(4)531-538  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷63 骨粗松症」藤田拓男『臨床科学』29(5)647-652  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷64 脳血管撮影」館野之男, 玉木正男『臨床科学』29(6)769-776  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷65 めまい」松永喬『臨床科学』29(7)893-902  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷66 消化性潰瘍」小林絢三『臨床科学』29(8)1053-1061  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷67 ワイル病」澤江義郎

『臨床科学』29(10)1411-1418

- 「医療今昔物語—学説・診療の変遷68 難聴」鈴木淳一, 櫻井尚夫『臨床科学』29(11)1545-1552  
「医療今昔物語—学説・診療の変遷69 尋常性座瘡」朝田康夫『臨床科学』29(12)1687-1694  
「過去にも人間のうえにのしかかった感染症があった」網野豊『エイズ教育テキスト(学習研究社)』8-11  
「坪井芳洲筆島津斉彬容体書について」泉彪之助『日本医史学雑誌』39(2)133-156  
「坪井芳洲筆島津斉彬容体書の史料について(抄)」泉彪之助『日本医史学雑誌』39(1)62-63  
「医療の歴史から見たエイズの問題点」酒井シヅ『社会教育』563(25-27)  
「Lysosome病の歴史的展望(英文)」鈴木邦彦『日本先天代謝異常学会雑誌』9(1)1-12  
「文学作品に由来する二・三の病名」深瀬泰旦『川崎市小児科医会会誌』(25)3-17  
「日本らい史(NHK放送大学『日本疾病史』)」山本俊一『甲田の裾』(562)1-10

## 24 耳鼻咽喉史

- 「気道・食道異物の歴史と逸話 気道・食道異物とその対応の歴史」飯田収『Johns』9(3)493-500  
「古典あれこれ 耳管カテーテル挿入法小話」飯沼壽孝

『Johns』9(7)1210-1212

「古典あれこれ 耳管カテーテル余話—Kramer, Deleau, Itardをめぐる—」飯沼壽孝『Johns』9(11)1774-1776

「古典あれこれ 耳科学の創始者Itardの生涯と仕事」犬山征夫『Johns』9(9)1474-1477

「古典あれこれ Gensoulの上顎全摘術をめぐる反響と論争について」犬山征夫『Johns』9(12)1910-1913

「古典あれこれ 外科臨床教育の創始者 Pierre Joseph Desault」犬山征夫『Johns』9(1)118-121

「古典あれこれ Helmholtzと耳鼻咽喉科」貝塚光『Johns』9(3)800-803

「気道・食道異物の歴史と逸話 印象に残った症例」河本和友『Johns』9(3)501-504

「古典あれこれ 歴史をかえた喉頭の病気」小林武夫『Johns』9(2)360-366

「鼓室形成術の歴史と分類」坂井真『耳鼻咽喉科展望』36(3)335-341

「古典あれこれ 食道発声事始」廣瀬肇『Johns』9(8)1346-1348

## 26 獣医学史

「〈座談会〉日本獣医学史学会：20年の歩み」『日本獣医学史雑誌』(30)1-34

「日本獣医畜産大学110年のあゆみ」小沢国男『日本獣医学史

雑誌』(29)34-39

「下長御料牧場ができるまで(15)—アップ・ジョーンズによる女化阿美原の牧場適地調査—」谷垣康弘『日本獣医学史雑誌』(9)47-49

「女化阿見の訓み方について」中井薫『日本獣医学史雑誌』29)55-56

「獣医学古書の系譜の研究序論」濱學『日本獣医学史雑誌』(29)18-33

「GHQと家畜検疫について」矢崎信夫『日本獣医学史雑誌』(29)52-54

「パラチオン製剤による牛の中毒死」矢崎信夫『日本獣医学史雑誌』(29)50-51

## 27 書簡

「原田家来簡集—直次郎及びその遺族宛て鷗外等書簡—」宮嶋一郎『天理図書館ビブリア』(100)176-195

## 28 書誌学

「池田文書の研究(九)」池田文書研究会『日本医学史雑誌』39(3)369-378

「『好書故事』[蘭書の部]の成立について」岡宏三『洋学史研究』(10)148-157

「[蘭学事始]と[蘭東事始]」片桐一男『洋学史研究』(10)3-10

『蘭学事始』と『蘭東事始』(抄) 片桐一男『日本医史学雑誌』39(1)58-59

「河口良庵著(寛文十庚戌歳)『阿蘭陀語』本に就いて(抄)」川島恂二『日本医史学雑誌』39(1)56-58

「御雇教師シュルツエの[外科通論]-明治初期教科書使用状況一斑-」小関恒雄『日本医史学雑誌』39(2)169-178

「永富独嘯庵著書の書誌」宗田一『医譚』(65)3875-3877

「ハーバード大学イェンチン図書館の医学関係の和漢医籍」津谷喜一郎『日本医史学雑誌』39(2)237-243

「金沢貞頭文書の医史学的研究 (記事)」樋口誠太郎『日本医史学雑誌』39(3)394-395

「“Racing in America”(図書)の紹介」松尾信一『日本獣医史学雑誌』(29)45-46

「三卷本『本草集注』と出土史料(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』39(1)26-28

「仙台市図書館蔵[伊達家史叢談]について(その2)」村井秀夫『獣医史学雑誌』(29)40-44

「Heinrich Bassの縷帯書」安田純一『医譚』(65)3879-3881

## 29 小児科史

「わが国における育児書発行の変遷」加藤翠『日本女子大学紀要家政学部』(40)1-7

「Nils Rosen von RosensteinとJohann Andreas Murray—1冊の小児科書をめぐって(抄)」深瀬泰旦『日本医史学

雑誌』39(1)51-52

「子供と医史学47-50 脱水症の研究③-⑥」深瀬泰旦『教育医事新聞』(101-104)18,15,14,17

「子供と医史学52-53 脱水症の研究⑧-⑨」深瀬泰旦『教育医事新聞』(106-107)14,16

「子供と医史学54-57 脱水症の研究⑩-⑬」深瀬泰旦『教育医事新聞』(109-112)7,17,12,9

## 30 神経学史

「日本神経学会創立のころ-[序文の謎]にもふれて-」岡田靖雄『日本医事新報』(3617)63-66

「神経伝達物質研究史(7)ニューロンがホルモンを分泌する」佐野豊『ミクروسコピア』10(2)100-106

「神経伝達物質研究史(8)揺籃期の神経分泌研究 榎並仁の業績に光を当てて」佐野豊『ミクロスコピア』10(4)244-249

## 32 整形外科史

「星野良悦と人骨標本(第6回)」酒井シヅ『整形外科の先人の蹟をたずねて』(6)1-4

「江戸時代按摩手技の文献的考察(抄)」鈴木英征、青木隆明、戸野吉浩、原田和江、広門靖正、濱田淳、長尾栄一『日本医史学雑誌』39(1)44-45

「大隈重信の義足—その原因と生活—(抄)」坪井良子『日本医史学雑誌』39(1)100-102

「精神外科の隆盛と衰微」藤倉一郎『日本医史学雑誌』39(2)  
217-222

### 33 精神医学史

「懸田克躬先生にうかがう『流れ流され大学生生活五十年』」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(29)

「掲載資料解題」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』  
(28)40

「掲載資料解題『癲癇狂辨』」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(27)39

「佐藤壺三先生を囲んで—精神科入門から地域との出会いまで」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(28)51

「島邨俊一小伝—悲運の精神病学者—」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(28)34

「精神病患者実験記事(その1)～(その3)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(27-29)18-25,23-26,16-27

「高嶺三吉筆記『榊教授精神病学』(その4)～(その6)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(27-29)10-17,16-22,10-15

「癲癇狂辨(その1)～(その3)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(27-29)1-9,1-8,1-9

「日本精神衛生協会発会式のお知らせ」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(27)37-38

「郵便 [報知新聞] 第814号」『呉秀三先生記念精神科医療史

資料通信』(27)

「定義温泉滞在記『古稀日記(上)』」入山哲彌『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(28)34-39

「江戸医学館の考試辨書『癲癇狂辨』について(第1報)—当時の精神病学説をみる—」岡田靖雄『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(28)9-15

「〈新版 精神医学事典〉をみる」岡田靖雄『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(29)38-39

「長山泰政—戦前に院外治療を提唱した精神科医—(記事)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』39(3)393

「京都府立〔癲狂院〕の設立とその経緯」小野尚香『日本医史学雑誌』39(4)477-500

「恙虫病について余等の予防法」加藤敏市『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(29)29-30

「(座談会)社会精神医学の回顧と展望」加藤正明、大原健士郎、岡田靖雄、吉川武彦、佐藤壺三『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(29)

「恙虫病の予防に就て(第一報)」川村麟也、伊藤辰治、中村隆治、上村忠雄、佐藤猪久彦『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(28)27-33

「ドイツ精神神経学会150周年記念総会印象記」濱中淑彦『精神医学』35(5)544-546

「『恙虫病予防に就いて』新潟医大川村、中村両教授の報告を読み」林直助『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』

(29)28

「私と精神外科 ロボトミーの歴史と共に歩んで」廣瀬貞雄  
『ミクロスコピア』10(1)36-42

「第四高等学校校医学部における精神病講義の記録『北野  
ノート』について」正橋剛二『呉秀三先生記念精神科医療  
史資料通信』(29)35-37

「資料 第三高等学校校医学部における精神病学講義の筆記  
録『田宮ノート』について」正橋剛二、篠田真由美『北陸  
神経精神医学雑誌』7(1-2)70-77

「日本の精神医学の夜明け—西洋医学との出会い—」松下正  
明『科学医学資料研究』(232)1-14

「精神衛生鑑定医(精神保健指定医)40年」吉田正郎『呉秀三  
先生記念精神科医療史資料通信』29)31-34

「呉教授就職十年祝賀会祝辞」和田豊種『呉秀三先生記念精  
神科医療史資料通信』(27)26-36

### 35 西洋医学史

「二十世紀におけるヒポクラテス医学と哲学」スヒロス・マ  
ルケトス、深瀬泰旦(訳)『日本医史学雑誌』39(4)463-476

「『エビデミアイ』とヒポクラテス医学派—古代ギリシャ医学  
論考—」今井正浩『科学史研究』(186)65-74

「古代ギリシャ医学とその思想的展開—ヒポクラテス『古  
来の医術(De Vetere Medicina)』における〔哲学論(フィ  
ロソフィア)〕批判をめぐって—」今井正浩『科学史研究』

(183)147-155

「西洋における医学学位制度の成立(2)—医学学位制度の構  
造—」児玉善仁『帝京大学文学部教育学紀要』(18)179-202

「ドイツ医学の採用に関する三つの疑問をめぐって」森川潤  
『日本医史学雑誌』39(3)347-360

### 37 生理学史

「イオンチャンネルの歴史的展望(総説)」檜橋敏夫『神経精  
神薬理』15(3)137-160

### 38 地方史

「〔石川県富山病院・同医学所〕について」赤祖父一知『医譚』  
(64)3821-3832

「石川県富山病院・同医学所の医師について(抄)」赤祖父一  
知『日本医史学雑誌』39)1)86-88

「富山藩西洋医学所の富山藩医について」赤祖父一知『北陸  
医史』14(1)17-24

「北陸に於ける医の郵便印」石原理年『北陸医史』14(1)33-39

「越前大野藩儒医松邨九山の著書」岩治勇一『北陸医史』14(1)  
12-16

「適塾に学んだ広島県北出身の先人たち(抄)」江川義雄『日  
本医史学雑誌』39(1)60-61

「適塾に学んだ広島県北部の医人たち—特に渡辺玄丹を中心  
として—」江川義雄『広島医学』46(1)136-140

「歴史の広場 適塾に学んだ学徒の後裔たち—岡山医大を卒業した三人の同窓生の邂逅—」江川義雄『岡山医学同窓会報』75)16-18

「明治初期の新潟居留外国人医師らの雇人届書」小関恒雄『医譚』(64)3803-3809

「佐賀藩の西洋医学受容とその影響」酒井シヅ『好生』(14)9-18

「千年の息吹き(138)京の歴史群像」酒井シヅ『京都新聞』(40246)3

「北陸の漢方典籍—史的考察—」多留淳文『北陸医史』14(1)2-11

「史料・金沢医学館卒業生(一)宮北徳について」寺畑喜朔『北陸医史』14(1)42-47

「医の資料館(16)福井4万石の洋学・大野市歴史民俗資料館」西来武治『Medical News』(328)14-17

「医の資料館(17)至誠一貫・東京女子医科大学 吉岡彌生記念室」西来武治『Medical News』(329)14-17

「医の資料館(18)大阪道修町と神農さん」西来武治『Medical News』(330)14-17

「明治初期の石川県衛生統計について」橋本和夫『北陸医史』14(1)25-32

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その51)」森重孝『鹿児島市医報』32(3)37-39

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その52)」森重孝『鹿児島

市医報』32(4)54-57

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その53)」森重孝『鹿児島市医報』32(6)36-41

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その54)」森重孝『鹿児島市医報』32(7)46-49

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その55)」森重孝『鹿児島市医報』32(11)86-87

### 39 治療史

「米国における理学療法教育の歴史的考察」Melzer Barbara A.『理学療法ジャーナル』27(5)316-319

「ステロイド外用剤の歴史 皮膚萎縮試験、下垂体副腎機能抑制試験」荒瀬誠治、浦野芳夫『日独医報』38(1)21-32

「頭頸部癌化学療法史の歴史と現況」犬山征夫『Johns』9(4)549-556

「血液浄化療法の歴史と現在の問題点」太田和夫『Medicina』30(5)792-796

「ステロイド外用剤の歴史 血管収縮試験」川島真『日独医報』38(1)13-20

「ステロイド外用剤の歴史 作用機序、構造と活性、基剤など」玉置邦彦『日独医報』38(1)8-12

「セックスカウンセリングの歴史と現状」野末源一『セクシャルサイエンス』2(8)5-9

「電気治療器からみた幕末の電気の歴史」布施光男『電気技

術史研究会資料』9-18

「治療の歴史 蘇生法」三井香児『治療学』27(9)1129-1133

## 40 伝記

「歴史閑話 浅川範彦」深瀬泰旦『MEDIC』28(1)表紙、表2

「歴史閑話 足立寛」深瀬泰旦『MEDIC』28(9)表紙、表2

「アヴィセンナ『医学の歌』第8回～第9回」志田信男『伝承と医学』(8-9)-7,4-14

「アルツハイマーの生家」池田和彦『ミクروسコピア』10(4)232-237

「飯沼興蔵が宇田川家へ入ったころ」幸田正孝『慾齋研究会だより』(62)2-5

「資料紹介 慾齋翁之碑建設事業文書」『慾齋研究会だより』(60)1-4

「資料紹介 慾齋の『植物用語対訳』稿I～III」遠藤正治『慾齋研究会だより』(60-62)5-7,2-5,6-7

「慾齋が描いた蟲」説田健一『慾齋研究会だより』(63)2-7

「岡山県病院初代病院長 生田安宅伝」中山沃『洋学資料における日本文化の研究』(6)127-148

「日本の医学をつくった人たち その参 (安政五年、蘭学禁止令解く)伊東玄朴の尽力」酒井シヅ『暮しと健康』48(3)70-71

「海上随鷗の京都の塾について」森納『医譚』(65)3867-3868

「歴史閑話 遠藤滋」深瀬泰旦『MEDIC』28(4)表紙、表2

「日本の医学をつくった人たち その四 緒方洪庵」酒井シヅ『暮しと健康』48(4)70-71

「海軍大医監奥山虎炳」深瀬泰旦『慈恵医大小児科教室同窓会会誌』(平成5年版)19-28

「解体新書の絵師—小田野直武」中原泉『日本歯科医史学会々誌』19(3)97-102

「今、オパーリンの実像を求めて」江上生子『科学史研究』(186)108-109

「日本の医学をつくった人たち その漆 賀川玄悦の秘伝・回生術」酒井シヅ『暮しと健康』48(7)70-71

「Engelbert kaempfers Beschäftigung mit der japanischen Sprache」Wolfgang Michel『Engelbert-kampfer-Gesellschaft(Lemgo) und des Deutschen Instituts für Japanstudien(Tokyo)』194-221

「Engelbert Kaempfer und die Medizin in Japan」Wolfgang Michel『Engelbert-kampfer-Gesellschaft(Lemgo) und des Deutschen Instituts für Japanstudien(Tokyo)』248-293

「鳥巣道人謙齊著 [医療手引草] について」山田祥二『北陸医史』14(1)40-41

「シーボルトの絵師 川原慶賀—その国内現存作品について—」兼重護『鳴滝紀要』(3)80-117

「古典医学書翻訳 ケルスス『医学論』(8)」石渡隆司、小林晶子『医事学研究』(8)176-188

「日本の医学をつくった人たち その拾弐 北里柴三郎の偉業」酒井シヅ『暮しと健康』48(12)70-71

「北里柴三郎略年譜」添川正夫『日本獣医史学雑誌』(29)6-7

「日本の医学をつくった人たち その伍 楠本イネの短かった充実の日々」酒井シヅ『暮しと健康』48(5)70-71

「日本の脳研究者たち X II 久留勝(1902-1970)」萬年甫『Brain Medical』5(2)88-92

「小島原泰民とその訳(著)書(抄)」谷津三雄、渋谷鉦『日本医史学雑誌』39(1)76-77

「開国前後の日本における西洋英雄伝とその受容—西洋社会研究者 小関三英のナポレオン伝を中心に—」岩下哲典『洋学史研究』(10)118-147

「佐伯理一郎と京都(五)—卒業祝筵の謝辞、関西産科婦人科学会—」長門谷洋治『啓迪』(11)21-26

「[佐伯理一郎門人綴]について」有田浩『啓迪』(11)13-20

「日本の医学をつくった人たち その陸 (明治五年、はじめての私立病院開院)佐藤尚中の卓見」酒井シヅ『暮しと健康』48(6)70-71

「ph: Fr・フォン・シーボルトが依嘱された日本での課題と遺された文書からの答え—真実への愛と公正さ—」エバ・ハルト・フリーゼ、宮坂正英(訳)『鳴滝紀要』(3)3-50

「文政九年シーボルトの江戸長期滞在計画について」梶輝行『鳴滝紀要』(3)118-142

「司馬江漢と職人ブック」磯崎康彦『洋学史研究』(10)11-37

「日本で忘れられた宣教医シュミッド博士」安田純一『医譚』(65)3869-3873

「日本の医学をつくった人たち その壹 [医事不如自然] 杉田玄白の絶筆」酒井シヅ『暮しと健康』48(1)70-71

「歴史閑話 須田泰嶺」深瀬泰旦『MEDIC』28(5)表紙、表2

「先達医家の肖像 <48> Roger Wolcott Sperry(1913-)」酒井シヅ『Medical Digest』(324)巻末

「関場不二彦の事蹟(二)—愛知医専赴任事件に関する新資料—(抄)」吉田信、島田保久、津田晴美、犬山征夫、松木明知『日本医史学雑誌』39(1)78-79

「ロシア帝国軍医・関餘作のロシア通信(一)」大西久男(泰久)『北海道武蔵女子短期大学紀要』(25)1-52

「ロシア帝国軍医・関余作のロシア通信(抄)」大西泰久『日本医史学雑誌』39(1)68-69

「史料紹介 天保12年高島秋帆の出府に関する一史料『高島秋帆徳丸原入費覚書』」梶輝行『洋学史研究』(10)93-117

「『雪華図説』と鷹見泉石」小川裕久『洋学史研究』(10)158-186

「鍼灸老舗の人々32-42 その五 辰井文隆3-12」上地栄『医道の日本』52(2-12)149-152, 159-163, 177-181, 156-160, 159-163, 158-162, 166-169, 160-163, 161-165, 163-166, 159-163

「維新を生きた村医者の生涯—津下精膏の場合—(抄)」津下健哉『日本医史学雑誌』39(1)79-81

「歴史閑話 坪井次郎」深瀬泰旦『MEDIC』28(2)表紙、表2

「十束井齋の洋学者としての一面」舟木茂夫『静岡県医史懇

話会誌』(7)2-9

「歴史閑話 戸塚静海」深瀬泰旦『MEDIC』28(6)表紙、表2

「歴史閑話 戸塚文海」深瀬泰旦『MEDIC』28(7)表紙、表2

「日本の医学をつくった人たち その拾壹 長井長義の嘆息」  
酒井シヅ『暮しと健康』48(11)70-71

「シンポジウム(一)蘭医長崎浩齋生誕一九五年を記念して  
大槻玄沢と長崎浩齋—蘭学、その江戸と北陸(抄)」片桐一  
男『日本医史学雑誌』39(1)11-11

「シンポジウム(一)蘭医長崎浩齋生誕一九五年を記念して  
長崎家収蔵の「方意便蒙」について—越中高岡伸農講の記  
録(抄)」正橋剛二『日本医史学雑誌』39(1)12-13

「シンポジウム(一)蘭医長崎浩齋生誕一九五年を記念して  
長崎浩齋一人と業績—(抄)」津田進三『日本医史学雑誌』  
39(1)8-10

「「処士独嘯庵墓」再建について(記事)」岡村芳樹『日本医史  
学雑誌』39(3)390-392

「野口英世研究業績の発表論文による経年的医史学的分析  
とくにスピロヘータ分類学の業績」福本裕、森山徳長、奥  
田克爾、高添一郎『日本歯科医史学会々誌』19(2)71-78

「Willem Bijleveltの「金銭納簿」」ヴォルフガング・ミヒェ  
ル『洋学史研究』(10)38-81

「長谷川泰と「脚気病院」(抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』  
39(1)83-85

「近代麻酔学創った華岡青洲 痛みとの闘いの歩み」松木明

知『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)120-123

「日本の医学をつくった人たち その式[池の昔を思ひわす]  
華岡青洲の優しさ」酒井シヅ『暮しと健康』48(2)70-71

「先達医家の肖像 <50> John Hunter(1728-1793)」酒井シ  
ヅ『Medical Digest』(326)巻末

「先達医家の肖像 <49> Richard Philipps Feynman(1918-  
1988)」酒井シヅ『Medical Digest』(325)巻末

「追悼 藤野恒三郎 日本医史学会関西支部長(続き)」有坂  
隆道、杉立義一、加藤豊明『医譚』(64)3847-3850

「歴史閑話 藤野恒三郎」深瀬泰旦『MEDIC』28(3)表紙、表2  
「人と時代 Korbinian Brodmann覚書き」岩間吉也『ミク  
ロスコピア』10(3)178-186

「日本の細胞生物学の恩人 勉熱人崇旦禮先生を悼んで(ス  
タンレーベネット 1910-1992)」永野俊雄『ミクロスコピ  
ア』10(1)20-22

「[和英語林集成]より見たヘボン診療」大島智夫『神奈川  
医学会雑誌』20(1)172-174

「日本の医学をつくった人たち その拾 エルウィン・フォ  
ン・ベルツの助言」酒井シヅ『暮しと健康』48(10)70-71

「ベルツが日本に残したもの」酒井シヅ『ベルツ賞30周年』  
26-29

「先達医家の肖像 <47> Jean Baptiste Bouilland(1796-1881)」  
酒井シヅ『Medical Digest』(323)巻末

「江戸のオランダ医学学校構想—ボードインの去就をめぐって

一」森川潤『広島修大論集』34(1)  
「幕府医官 細川桃庵の事蹟」関信之、小曾戸洋『日本医史学雑誌』39(3)315-332  
「先達医家の肖像 <51> Sir Morell Mackenzie (1837-1892)」酒井シヅ『Medical Digest』(327)巻末  
「本邦最初の西洋助産術教師 マティルダ・エアトン(抄)」石原力『日本医史学雑誌』39(1)72-73  
「初代曲直瀬道三とらい遺伝説について(抄)」横田則子『日本医史学雑誌』39(1)38-39  
「追悼 三木栄 日本医史学会名誉会員」蒲原宏、宗田一、真柳誠、三木謙『医譚』(64)3833-3846  
「名誉会員三木栄先生の御逝去を悼みて」蒲原宏『日本医史学雑誌』39(2)251-254  
「三木栄先生略歴」長門谷洋治『日本医史学雑誌』39(2)259-260  
「歴史閑話 本居宣長」深瀬泰旦『MEDIC』28(8)表紙、表2  
「[日本米食史序文] 考—鷗外の[脚氣論争] 敗北告白の書—」志田信男『伝承と医学』(9)28-37  
「森鷗外と医学留学生たち(記事)」山崎光夫『日本医史学雑誌』39(4)598-600  
「山本忠孝—北京における魯迅の主治医—」泉彪之助『福井県立短期大学研究紀要』(18)89-102  
「山本榕室の飯沼愨齋宛書簡の紹介」遠藤正治『愨齋研究会だより』(61)6-7

「日本の医学をつくった人たち その捌 山脇東洋の感謝」酒井シヅ『暮しと健康』48(8)70-71  
「日本の医学をつくった人たち その玖 吉岡彌生の苦勞」酒井シヅ『暮しと健康』48(9)70-71  
「吉田長淑と掛川藩」津田進三『静岡県医史懇話会会誌』(7)15-18  
「先達医家の肖像 <46> Charles Richet (1850-1935)」酒井シヅ『Medical Digest』(322)巻末

#### 41 伝 記(双)

「一井正典とドクターヴァンデンボルグ」松本晉一、渋谷敦『日本歯科医史学会々誌』19(2)57-61  
「宇田川榕菴と大沢松庵のあらそい—『榕菴手簡』と『津山藩江戸日記』—」幸田正孝『洋学資料による日本文化の研究』(4)39-61  
「阿波賀川家門人帳について」杉立義一『啓迪』(11)143-186  
「シーボルトとペッテンコーフェルの墓」泉彪之助『日本医史学雑誌』39(3)361-367  
「南北朝の医家徐氏の系譜(抄)」猪飼祥夫『日本医史学雑誌』39(1)42-43  
「杉田玄白の絶筆と河口信順(記事)」川島恂二『日本医史学雑誌』39(2)223-235  
「関口家ハイブリッド資料の研究(3) 研究と交流の紹介及び文書資料」関口忠志『鳴滝紀要』(3)226-245

「長崎家収蔵の『方意便蒙』について—越中高岡神農講の記録(抄)」正橋剛二『日本医史学雑誌』39(1)12-13

「長崎家収蔵の神農講の記録—『方意便蒙』」正橋剛二『医譚』(64)3787-3802

「ブランデンシュタイン家資料に見られるシーボルト事件に関する日記について」宮坂正英『鳴滝紀要』(3)143-186

「『米利堅平本常用方』中に現れる人物の特定について(抄)」高安伸子『日本医史学雑誌』39(1)64-65

「戦前合州国に留学した精神病学者—松原三郎、齋藤玉男、石田昇ほか(抄)」岡田雄雄『日本医史学雑誌』39(1)70-71

「森島中良と大槻玄沢—江戸蘭学者の交遊一斑—」石上敏『洋学資料における日本文化の研究』(4)15-38

### 43 東洋医学史

「漢方史探訪39回 延喜式」赤堀昭『小太郎漢方News 1・2月号』

「漢方史探訪40回 今昔物語」赤堀昭『小太郎漢方News 5・6月号』

「鍼灸七十余年の回顧と展望—奇経と正経—」磯邊實『医道の日本』52(5)182-185

「中国古来の[医学保健体操的導引]にみる系統的解釈について(抄)」市川太郎、坂本秀治『日本医史学雑誌』39(1)88-90

「漢方医学における大腸と小腸の再検討」遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』39(2)157-168

「痰の起源(一)—漢訳仏典にみられる痰の検討—」遠藤次郎、中村輝子、八巻英彦、宮本浩和『日本医史学雑誌』39(3)333-346

「痰の起源(二)—梁以前の医書にみられる痰の検討—」遠藤次郎、中村輝子、八巻英彦、宮本浩和『日本医史学雑誌』39(4)543-554

「満州医科大学東亜医学研究所の業績と貢献(1)」王鉄策『漢方の臨床』40(12)1697-1701

「『活幼口議』の著者について(抄)」王鉄策、真柳誠、小曾戸洋『日本医史学雑誌』39(1)28-29

「漢方薬の歴史(会議録)」大塚恭男『日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報』30(2)232

「浅井国幹先生[告墓文]の読解」鎌田正『漢方の臨床』40(8)1147-1172

「漢方史景55-57 カゼ症侯群(22)-(24)」蔵方宏昌『漢方診療』12(2-4)38,37,26

「漢方史景58-59 カゼ症侯群(25)-(26)」蔵方宏昌『漢方診療』12(6-7)22,25

「漢方史景60-61 カゼ症侯群(27)-(28)」蔵方宏昌『漢方診療』12(9-10)37,15

「目でみる漢方史料館(60)瀬丘長圭『診極図説』の原本」小曾戸洋『漢方の臨床』40(4)610-612

「目でみる漢方史料館(61)瀬丘長圭の肖像」小曾戸洋『漢方の臨床』40(5)746-748

「目でみる漢方史料館(62)新出の曲直瀬玄朔肖像」小曾戸洋『漢方の臨床』40(6)870-872

「目でみる漢方史料館(63)東洞学派の愛でた河豚」小曾戸洋『漢方の臨床』40(7)982-984

「宋版『經史證類備急本草』について」桜井謙介『漢方の臨床』40(2)245-251

「『本草いろは抄』に記載された『薬本』について」桜井謙介『漢方の臨床』40(4)698-702

「『薬徴』について」桜井謙介『漢方の臨床』40(9)1277-1284

「江戸時代按摩手技の文献的考察(抄)」鈴木英征、青木隆明、戸野吉浩、原田和江、広門靖正、濱田淳、長尾栄一『日本医史学雑誌』39(1)44-45

「仕掛け人・藤枝梅安の漢方治療について」関忠雄『医道の日本』52(5)186-189

「新資料『黄帝内経鍼経』御菌常斌奉勅校訂本の紹介」谷田伸治『漢方の臨床』40(3)459-477

「『蔵志』に噛み付いた男、愿仲田中栄信(山脇君、蔵志並びに附録を読む)」西岡一夫『漢方の臨床』40(6)914-925

「本邦における金匱要略の注解書について」長谷川弥人『漢方の臨床』40(3)435-441

「日本における臍風の記載について(抄)」広田暉子『日本医史学雑誌』39(1)40-41

「目でみる漢方史料館(59)—伝説の鳩鳥と世界初発見の毒鳥」真柳誠『漢方の臨床』40(2)178-180

「目でみる漢方史料館(64)—現存最古の中国本草—トルファン出土の『本草集注』」真柳誠『漢方の臨床』40(8)1082-1084

「目でみる漢方史料館(66)—華岡青洲の手術図と脱臼整復図」真柳誠『漢方の臨床』40(10)1338-1340

「目でみる漢方史料館(65)—トルファン出土の医方書—張文仲の遺方」真柳誠、小曾戸洋『漢方の臨床』40(9)1218-1220

「中国伝統医学の蔵府を考える—肝と肝臓Liver(記事)」宮川浩也『日本医史学雑誌』39(4)597-598

「浅井国幹先生[告墓文]の出現と温知会遺品の保管移転について」矢数道明『漢方の臨床』40(8)1173-1185

「大塚敬節先生略歴」『漢方の臨床』40(3)578-581

「日本漢方現代史余話(13)中山忠直氏渡満し早くも皇帝に漢方存続を進言す」矢数道明『漢方の臨床』40(1)148-150

「日本漢方現代史余話(14)中山忠直著『漢方医学の新研究』を読んで漢方を志した人々」矢数道明『漢方の臨床』40(4)703-707

「日本漢方現代史余話(16)『傷寒論』序文の烙書と張仲景像版画について」矢数道明『漢方の臨床』40(10)1428-1429

「平成4年(1992)漢方略史年表」矢数道明『漢方の臨床』40(5)825-837

「目でみる漢方史料館(67)—本間棗軒の理想とする医学」矢数道明、小曾戸洋『漢方の臨床』40(12)1594-1596

「『近世前期の医学』雑感」安井広迪『漢方の臨床』40(3)452-457

「中国の古典医書にみられる医者身分と治療について(抄)」山本徳子『日本医史学雑誌』39(1)25-26  
「中国医学と道教(XII『紅樓夢』から)(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』39(1)23-24

#### 44 内科史

「薬剤師のための免疫学講座 免疫学の歴史と概説」豊島聡『薬事』35(5)935-938  
「Bell麻痺 観察の歴史と病因論」岡島重孝『神経内科』38(1)18-23  
「間質性肺炎 肺線維症の基礎的な理解のために IIPの病理 その歴史と診断基準」齋木茂樹『病理と臨床』11(2)138-145  
「喘息の歴史閑話4 [喘息] “Asthma”の定義(4)」酒井シヅ『喘息』6(1)89-90  
「喘息の歴史閑話5 450年前の喘息の治療法」酒井シヅ『喘息』6(2)115-117  
「喘息の歴史閑話6 江戸時代の喘息論(1)」酒井シヅ『喘息』6(3)131-132  
「喘息の歴史閑話7 17世紀イギリスの喘息論」酒井シヅ『喘息』6(4)148-149  
「循環器病学の歴史11 女医Maude Abbott(1869-1940)と先天性心異常他」酒井シヅ『循環』(134)表2  
「循環器病学の歴史12 不整脈とSir James Mackenzie(1853-1925)」酒井シヅ『循環』(135)表2

「循環器病学の歴史13 冠動脈と心不全の関係を指摘した Sir Richard Quain(1816-1898)」酒井シヅ『循環』(136)表2  
「循環器病学の歴史14 冠動脈閉塞の意味を明確にした James B.Herrick(1861-1954)」酒井シヅ『循環』(137)表2  
「循環器病学の歴史15 心臓の刺激伝導系を発見した田原淳(1873-1952)」酒井シヅ『循環』(138)表2  
「循環器病学の歴史16 His束を発見したWilhelm His, Jr.(1863-1934)」酒井シヅ『循環』(139)表2  
「循環器病学の歴史17 人工心肺の先駆者Charles Augustus Lindbergh(1902-1974)」酒井シヅ『循環』(140)表2  
「循環器病学の歴史18 高安右人と脈なし病(高安病)」酒井シヅ『循環』(141)表2  
「循環器病学の歴史19 ニトログリセリンとWilliam Murrell(1853-1912)」酒井シヅ『循環』(142)表2  
「循環器病学の歴史20 フリント雑音とAustin Flint(1812-1886)」酒井シヅ『循環』(143)表2  
「心身医学の生理学的基礎 歴史的回顧と将来展望」山下格『心身医学』33(3)203-209

#### 45(2) 泌尿器科史

「日本泌尿器科臨床史(第22回) 産婦人科的泌尿器科学の系譜」友吉唯夫『臨床泌尿器科』47(1)82-83  
「日本泌尿器科臨床史(第23回) 泌尿生殖系臓器名の歴史の変遷(1)」友吉唯夫『臨床泌尿器科』47(2)172-173

「日本泌尿器科臨床史(第24回) 泌尿生殖系臓器名の歴史の変遷(2)―男子生殖腺の名称」友吉唯夫『臨床泌尿器科』47(3)262-263

「日本泌尿器科臨床史(第25・26回) 泌尿生殖系臓器名の歴史の変遷(3),(4)」友吉唯夫『臨床泌尿器科』47(5,6)348-349, 440-441

「日本泌尿器科臨床史(第27回～第29回) 古医書に見る泌尿器科的症候名について ―その1～その3―」友吉唯夫『臨床泌尿器科』47(7-9)518-519, 604-605, 700-701

「日本泌尿器科臨床史(第30回) 日本最初の精巢悪性腫瘤の手術記録」友吉唯夫『臨床泌尿器科』47(10)798-799

## 46 病院史

「病院薬剤師の病棟活動 病棟活動への歴史と現状の概要」水谷義勝、松野恒夫、河井重明、外1名『薬事新報』(1768)9-13

「オランダのある都市における病院システムの変遷」石田純郎『洋学資料における日本文化の研究』(4)149-168

「明治期の病院の新聞記事(その三)」土屋重朗『静岡県医史懇話会会誌』(7)10-14

## 47 病跡学

「特集1 文学に見る医学 “万能薬” コカインがいざなう理想郷―[バスカル医師]ゾラー([JANO]誌より)」『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)28-29

「特集1 文学に見る医学 性病を武器に闘った女性―[二十九号の寝台]モーパッサン―([JANO]誌より)」『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)26-27

「特集1 文学に見る医学 極限状態での人生の選択―[ペスト]デフォー―」立川昭二『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)30-31

「特集1 文学に見る医学 結核が生んだ悲恋―[不如帰]徳富蘆花」立川昭二『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)22-23

「特集1 文学に見る医学 美少年に魅せられた紳士の運命―[ベニスに死す]トーマス・マン」立川昭二『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)32-33

「特集1 文学に見る医学 美人の基準も変えた労咳―江戸川柳―」立川昭二『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)20-21

「特集1 文学に見る医学 一年の健康は屠蘇にあり―[土佐日記]紀貫之一」槇佐和子『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)14-15

「特集1 文学に見る医学 怨霊が救った人々の命―[今昔物語]―」槇佐和子『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)16-17

「特集1 文学に見る医学 どうして病気にかかるのか―[沈痾自哀文(万葉集)]山上憶良―」槇佐和子『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)12-13

「特集1 文学に見る医学 一人の男の運命が招いた疫病流行―[オイディプス王]ソポクレス―」槇佐和子『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)12-13

カル臨時増刊号』(25-6)24-25

「特集1 文学に見る医学 やけどの処方をも暗号で記述—[古事記] 稗田阿礼—太安麻呂—」榎佐和子『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)10-11

「特集1 文学に見る医学 欲を捨てるのが何よりの養生法—[徒然草] 吉田兼好—」榎佐和子『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)18-19

#### 48 病理学史

「ミクロに憑かれた人々—科学技術史の視点から—」青木自由治『行動と文化 講演・環談記録集』(1)1-40

「紅葉と漱石・病いの背景(3)」井上毅一『全日本病院協会雑誌』3(2 別冊)

「JSCPの国際交流の歴史と展望(会議録)」河合忠『臨床病理』41(補冊)3

#### 50 仏教医学史

「仏教の伝来と心の健康」乾修然『労働衛生ジャーナル』(206)4

「仏典と『スシュルタ本集』にみられる看護(抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』39(1)30-32

#### 51 法医学史

「大津事件関係容体書補遺」小関恒雄『医譚』(65)3855-3865

「明治初年神戸居留ベリ—よりの死体解剖願」小関恒雄『Act.

Crim. Japon』59(6)233-235

「明治初年広沢参議暗殺事件の創傷状況」小関恒雄『Act. Crim. Japon』59(5)195-199

#### 52 放射線医学史

「日本最初のX線科学書 [れんとげん投影写真帖—日本におけるX線学の誕生期を考察する—] 天野良平『金沢大学教育開放センター紀要』(13)25-41

#### 53 本草学史・博物学史

「日本博物学史覚え書(1)」磯野直秀『慶応義塾大学日吉紀要自然科学』(14)96-109

「『ミュンチング』の慾斎模写図の発見」遠藤正治『慾斎研究会だより』(65)2-8

「新大陸からヨーロッパへ伝わった薬物」宗田一『科学医学資料研究』(233)1-10

「朝倉氏遺跡出土の『湯液本草』」真柳誠『日本医史学雑誌』39(4)501-522

#### 54 麻酔学史

「華岡門難波抱節らの蒙汗薬(麻薬)の使用について(抄)」中山沃『日本医史学雑誌』39(1)53-55

## 55 門人録

- 「華岡青洲の〔春林軒〕入門者について一とくに文化二年度の入門者0人の謎一(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』39(1) 55-56
- 「〔藤林普山とその子孫 門人録〕補遺」森納『日本医史学雑誌』39(3)388

## 56 薬学史

- 「福沢諭吉と医薬分業」天野宏、川淵美奈子、田中淑子、斎藤明美、杉原正義『薬史学雑誌』28(2)57-62
- 「『千金方』巻第1、処方第5に引用された『神農本草経』と『薬対』の文章に関する検討」遠藤次郎、中村輝子、八巻英彦、宮本浩和『薬史学雑誌』28(1)1-5
- 「日本における医薬分業の歴史」大滝紀雄『月刊薬事』35(7) 1470-1473
- 「清洲花火小史」岡田登『薬史学雑誌』28(1)48-55
- 「道修町文書について」小城忠一『薬史学雑誌』28(1)46-47
- 「ポーランドの薬学の歴史」奥田潤、奥田陸子『薬史学雑誌』28(1)38-45
- 「近代病院薬剤師の職業専門化の歴史的過程(第1報)フランスの旧体制下の施療院における調剤」辰野美紀、奥田潤『薬史学雑誌』28(1)20-27
- 「近代病院薬剤師の職業専門化の歴史的過程(第2報)フラン

ス革命前後における医療の再編成」辰野美紀、奥田潤『薬史学雑誌』28(2)73-79

- 「終戦前昭和期、大阪帝国大学病院薬剤部で始まった男女雇用均等」中室嘉祐『薬史学雑誌』28(2)80-84
- 「薬の携帯とその容器の史的研究(10)~(11)江戸時代における売薬と薬の携帯(その1)、(その2)」服部昭『薬史学雑誌』28(1)28-32,33-37
- 「『肥後国之内熊本領産物帳』所載の薬用植物の研究(第1報)木類に由来する薬用植物」浜田善利『薬史学雑誌』28(1)6-11
- 「『肥後国之内熊本領産物帳』所載の薬用植物の研究(第2報)草類に由来する薬用植物」浜田善利『薬史学雑誌』28(2)63-72
- 「日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷(その6)カノコソウ(纈草)の医薬品としての品種についての知見」柳沢清久、山田光男、松本仁人『薬史学雑誌』28(1)12-19

## 57 蘭学史

- 「国語方言史におけるロシア資料の対照言語学的考察(一)」江口泰正『洋学資料による日本文化の研究』(6)1-14
- 「『改正増補英語箋』(住田文庫)下巻の増補語彙と薩摩辞書一[草][木][果實]部門一」下河部行輝『洋学資料による日本文化の研究』(4)105-126
- 「『独逸訳附単語篇』とその前版『独逸単語編』について」高橋輝和『洋学資料による日本文化の研究』(6)63-104
- 「ライデン大学ボイケルス教授の日蘭交流研究成果報告」藤

田俊夫、石田純郎『啓迪』(11)27-30

## 59 その他

「現代に残る医のシンボル 医学の杖に絡まる蛇は何匹が正統か？」石垣恒一『日経メディカル臨時増刊号』(25-6) 109-111

「医学資料展(秋田県医師会主催)」石田秀一『日本医史学雑誌』39(3)379-387

「文政三年に出島で演じられた小唄入り喜劇 [二人の獵師と乳売り娘] について」石田純郎『日蘭学会会誌』16(2)59-66

「医者というもの(XXV)~(XXVI)」伊藤國男『練馬区医師会だより』(298-309)37-41, 15-20, 41-45, 42-46, 15-18, 41-45, 46-49, 20-23, 12-15, 29-32, 32-36, 49-53

「歴史をゆがめるもの—医学史研究の方法にふれて—」岡田靖雄『青人冗言』(1)

「通詞の世界史—[阿蘭陀通詞] 以前—」加藤榮一『鳴滝紀要』(3)51-79

「今月の随想 史料の時代性とその価値」小曾戸洋『医道の日本』52(6)5

「厄除け郷土玩具」酒井シヅ『クリニシアン』40(1)4-6

「今月の誌上ギャラリー 黄道帯、十二宮図」酒井シヅ『循環科学』13(1)巻末

「今月の誌上ギャラリー アルプカシスの本草の収穫」酒井シヅ『循環科学』13(2)巻末

「今月の誌上ギャラリー 聖コスマスと聖ダミアン」酒井シヅ『循環科学』13(3)巻末

「今月の誌上ギャラリー 失神」酒井シヅ『循環科学』13(4)巻末

「今月の誌上ギャラリー マンダラゴラの図」酒井シヅ『循環科学』13(5)巻末

「今月の誌上ギャラリー 蛇とテリアカ」酒井シヅ『循環科学』13(6)巻末

「今月の誌上ギャラリー 元禄の解剖図」酒井シヅ『循環科学』13(7)表紙

「今月の誌上ギャラリー 飲食養生鑑」酒井シヅ『循環科学』13(8)巻末

「今月の誌上ギャラリー 聖母マリアとキリストの誕生」酒井シヅ『循環科学』13(9)巻末

「今月の誌上ギャラリー イタリア製のクスリ瓶」酒井シヅ『循環科学』13(10)巻末

「今月の誌上ギャラリー 脳出血の病理標本」酒井シヅ『循環科学』13(11)巻末

「今月の誌上ギャラリー 17世紀のイギリスの薬局」酒井シヅ『循環科学』13(12)巻末

「障害者差別はどのようなものであったか」杉山章子『新視点 日本の歴史 第7巻現代編』(新人物往来社)300-305

「魔女狩りと近代ヨーロッパ」鈴木晃仁『化学史研究』20(1) 37-53

「幕府典薬頭の見た朝鮮通信使と琉球国使節(二)」宗田一『啓迪』(11)1-5  
「パネルディスカッション まずは混沌から(Begin with Chaos)」津谷喜一郎『生存科学』3(2)31-50  
「近代医学と人体実験 抑止力欠いた医学者の姿とは」常石敬一『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)104-107  
「特集2-芸術に見る死生観の変遷 [西洋編]」徳田良仁『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)38-43  
「資料紹介 [遊女論] について」徳永宏『鳴滝紀要』(3)187-225  
「スポーツ医学の歴史 領域を拡大したスポーツ医学」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(1)57  
「スポーツ医学の歴史 スポーツ医学へのアプローチ-整形外科から」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(2)165  
「スポーツ医学の歴史 スポーツ医学へのアプローチ-生理学から」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(3)299  
「スポーツ医学の歴史 お雇教師米人リーランド」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(4)446  
「スポーツ医学の歴史『体育論』にみる体操の効果」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(5)547  
「スポーツ医学の歴史『健全学』の運動論」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(6)694  
「スポーツ医学の歴史 エネルギー消費の比較」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(7)814  
「スポーツ医学の歴史 スロイスの海水浴のすすめ」深瀬泰

旦『臨床スポーツ医学』10(8)955  
「スポーツ医学の歴史 陸軍軍医の執筆した体育書」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(9)1064  
「スポーツ医学の歴史 実用一点ばりの教程書」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(10)1197  
「スポーツ医学の歴史 スポーツと医学の邂逅」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(11)1347  
「スポーツ医学の歴史 スウェーデン体操の主唱者 川瀬元九郎」深瀬泰旦『臨床スポーツ医学』10(12)1492  
「[実験医学] のことなど」松木明知『科学医学資料研究』(231)6-11  
「ノヴァラ号の世界一周航海(1857-1859)と奥洪帝国医学会」安田純一『医譚』(64)3811-3816  
「特集2-芸術に見る死生観の変遷 [東洋編]」山折哲雄『日経メディカル臨時増刊号』(25-6)45-48

## 60 中国語文献(北里研究所東医研医史学研部担当)

「近代福建華僑興辦の医療衛生事業」劉徳栄『中華医史雑誌』23(1)1~5  
「明代陝北軍事医学」李玲莉『中華医史雑誌』23(1)5  
「清末民初我国学校性教育述略」陳永生『中華医史雑誌』23(1)6-11  
「濰坊地区西医的伝入」劉軍『中華医史雑誌』23(1)12-14  
「砒剂治梅毒的最早記録」黄素英『中華医史雑誌』23(1)14

「扁鵲(秦越人)里籍考」曹東義『中華醫史雜誌』23(1)15-19  
「『難經』醫學理論的時代特徵」廖育群『中華醫史雜誌』23(1)  
20-26  
「高血壓病研究簡史」張大慶『中華醫史雜誌』23(1)26  
「『黃帝內經太素』成書年代研究述評」王玉興·趙靜『中華醫  
史雜誌』23(1)27-29  
「下頷關節脫位整復術的最早記載」朱建平『中華醫史雜誌』  
23(1)29  
「曹云籍貫小考」許昶『中華醫史雜誌』23(1)29  
「試論中国古代藥酒」田育誠『中華醫史雜誌』23(1)30-32  
「福建民俗与台湾衛生慈善事業」郭鏡智『中華醫史雜誌』23(1)  
33-35  
「從中国史前人口平均寿命淺談人壽延增的社会因素」游金  
生·梁秋萍『中華醫史雜誌』23(1)36-39  
「征服脊髓灰質炎簡史」左漢賓·王永棟『中華醫史雜誌』23(1)  
40-44  
「日本反廢止漢方医与中国反廢止中医之鬭爭及其比較」靳士  
英『中華醫史雜誌』23(1)45-51  
「瑤族医藥的特点及伝録方式」莫蓮英·何最武『中華醫史雜  
誌』23(1)52-54  
「“北魏·崔浩『食經』”考」高文鏞『中華醫史雜誌』23(1)55-59  
「『神農本草經』成書年代的計量分析」梁茂新·李東安·王普  
民『中華醫史雜誌』23(1)60-63  
「現行單行本『神農本草經』文是陶弘景整理的」尚志鈞『中

華醫史雜誌』23(1)64  
「方以智的医藥論述和見解」趙璞珊『中華醫史雜誌』23(2)  
65-68  
「大理三月街藥市」尹安東『中華醫史雜誌』23(2)68  
「医儒關係略論」張知寒『中華醫史雜誌』23(2)69-71  
「元代名医尚從善小考」張瑞賢『中華醫史雜誌』23(2)72-73  
「嶺南省翁考」王鈇策『中華醫史雜誌』23(2)74-76  
「『居延漢簡』中的医務制度」孫其斌·徐福明『中華醫史雜誌』  
23(2)77-79  
「古針演化概貌」白純『中華醫史雜誌』23(2)80-83  
「馬脾風病名考源及与毛細支氣管炎的異同」賀双騰·歐正武  
『中華醫史雜誌』23(2)84-87  
「閩西蘇区的衛生(1929~1934)」華碧春『中華醫史雜誌』23(2)  
88-90  
「心血管影像学簡史」劉金豐·李玉梅『中華醫史雜誌』23(2)  
91-95  
「介入性放射学發展簡史」劉繼聯·馬玉峰『中華醫史雜誌』  
23(2)96-101  
「帛書『脈法·相脈之道』初探」彭堅『中華醫史雜誌』23(2)  
102-105  
「丹溪著述弁偽」劉時覺『中華醫史雜誌』23(2)102-109  
「藥家老舖的譜系与軼事」樂崇熙『中華醫史雜誌』23(2)  
110-113  
「中藥菊花的本草考証」尚志鈞·劉曉龍·劉大培『中華醫史

雜誌』23(2)114-117

「內蒙古藥材資源開發史初探」伊尼岩『中華醫史雜誌』23(2)118-121

「對『靈樞』、『素問』並非『黃帝內經』—兼論『靈樞』、『素問』成書于東漢」一文質疑」韓振廷『中華醫史雜誌』23(2)122-124

「也談陰道窺器的發明者」馬大正『中華醫史雜誌』23(2)124  
「『臟腑虛實標本用藥式』作者質疑」鐘贛正『中華醫史雜誌』23(2)127

「19世紀上半葉美國的眼科學」甄橙『中華醫史雜誌』23(2)128  
「道教養生學的源流與特點」朱建平『中華醫史雜誌』23(3)129-137

「論中國醫學藏象的始末與變演」俞世偉『中華醫史雜誌』23(3)138-144

「巴黎圖書館中敦煌醫書及其它」車離『中華醫史雜誌』23(3)144

「『吳醫匯講』為連續出版物之質疑」蘇鉄戈『中華醫史雜誌』23(3)145-148

「論『金匱玉函經』刊佚本與價值」何愛華『中華醫史雜誌』23(3)149-154

「運氣七篇的幾點考證」王鉄『中華醫史雜誌』23(3)155-157  
「『天寶單方藥函』考略」鄭金生『中華醫史雜誌』23(3)158-161

「美國外科學在本世紀進步的原因」甄橙『中華醫史雜誌』23(3)161

「『本經』藥物“采造時月”佚文考」齊雲『中華醫史雜誌』23(3)162-164

「兩宋時期中藥之外傳」王棣『中華醫史雜誌』23(3)165-171  
「現代醫學的價值構成」韓躍紅『中華醫史雜誌』23(3)172-174  
「繆仲淳創立胆囊觸診法」褚玄仁·李順保『中華醫史雜誌』23(3)174

「二尖瓣外科治療的歷史回顧」魏開敏『中華醫史雜誌』23(3)175-176

「19世紀兩位英國外科名醫」晁輝『中華醫史雜誌』23(3)176  
「『蒙古秘史』中的醫學史料」王麗梅·奧烏力吉·德呼格吉樂函『中華醫史雜誌』23(3)177-180

「馬王堆漢墓醫書考釋」史常永『中華醫史雜誌』23(3)181-184  
「抗日戰爭時期八路軍傷票」趙莉敏·張紅『中華醫史雜誌』23(3)184

「正確認識和評價中西醫匯通醫家的業績」吳雲波『中華醫史雜誌』23(3)185-189

「近代中醫診斷學的發展」劉暉楨『中華醫史雜誌』23(4)199-204

「抗戰勝利後的廈門海港檢疫」楊上池『中華醫史雜誌』23(4)205-207

「『諸病源候論』對中醫產科學的貢獻」傅芳『中華醫史雜誌』23(4)208-212

「有關卵巢切除術的記載」甄橙『中華醫史雜誌』23(4)212  
「『諸病源候論』在口腔醫學上的貢獻」喬守正『中華醫史雜誌』

- 23(4)213-216  
 「孫思邈与急救医学」張青山・党正祥『中華医史雜誌』23(4)  
 217-219  
 「植物薬品化学的奠基者」宋之琪『中華医史雜誌』23(4)219  
 「18世紀英国傑出的医学作家約翰・亨特—紀念約翰・亨特逝世  
 200周年」陳軍『中華医史雜誌』23(4)220-222  
 「核磁共振的医学応用發展簡史」李曉陽『中華医史雜誌』23(4)  
 223-226  
 「館藏孤本『吁客医譚』初探」陳榮『中華医史雜誌』23(4)  
 227-229  
 「『万氏秘伝外科心法』非万全著作考」毛德華『中華医史雜誌』  
 23(4)230-232  
 「田代三喜学医于虞搏之孫史実考弁」史世勤『中華医史雜誌』  
 23(4)233-235  
 「評『陶弘景本草著作中諸問題的考察』」尚元藕『中華医史雜  
 誌』23(4)236-241  
 「也読川貝母始載本草文獻—与林森榮先生商榷」洪恂『中華  
 医史雜誌』23(4)241  
 「薬方洞石刻薬方考」邵殿文『中華医史雜誌』23(4)242-249  
 「『本草綱目拾遺』所引本草類文献及其特点」万金榮『中華医  
 史雜誌』23(4)254
- 61 韓国語文献 (文字データベース化のため英文タイトルのあ  
 る論文のみ採用)

- LEE, Tae-Jun : A Medico-historical Review on  
 Biomedicine and Its Limitations and Problems. Kor. J.  
 Med. Hist. 2(1), 1-9  
 KEE, Chang-Duck : The Early History of National Educa-  
 tion of Western Medicine in Korea. Kor. J. Med. Hist.  
 2(1), 10-37  
 KIM, Ock-Joo : Smallpox Epidemics and Folk's Responses  
 in the Late Choson Period. Kor. J. Med. Hist.  
 2(1), 38-58  
 SEO, Hong-Gwan/KIM, Chang-Yup : The Transition of  
 Medical Terms in Korea between 1935 and 1985. Kor. J.  
 Med. Hist. 2(1), 59-65  
 YEO, In-Sok/RHO, Jae-Hoon : The Medical Philosophy  
 of Choe Han-Ki. Kor. J. Med. Hist. 2(1), 66-79  
 KIM, Sangduk : Women's Medical Training Institute 1928  
 to 1938. Kor. J. Med. Hist. 2(1), 80-84  
 KEE, Chang-Duck : The Early History of Private Educa-  
 tion of Western Medicine for Women. Kor. J. Med. Hist.  
 2(1), 85-98  
 HWANG, Sang Ik : Vitalism and Mechanism-Their  
 Meanings in the Millieu of the 17th and 18th Centuries.  
 Kor. J. Med. Hist. 2(2), 99-113  
 YEO, In-Sok : Parasitic Diseases in Dong-Eui-Bo-Kam.  
 Kor. J. Med. Hist. 2(2), 114-121

CHUN, Chong-Hwee : The History of Small Pox Prevention in Korea. *Kor. J. Med. Hist.* 2(2), 122-125

KEE, Chang-Duk : Medical Education in Pyongyang(1890-1945). *Kor. J. Med. Hist.* 2(2), 126-141

KEE, Chang-Duk : Medical Education in Taegu (1890-1945). *Kor. J. Med. Hist.* 2(2), 142-158

CHI, Je G. : Introduction and Establishment of Pathology in Korea(1910-1960). *Kor. J. Med. Hist.* 2(2), 159-177

KEE, Chang-Duk : Oriental Medical Doctors and Oriental Medicine Training Institute during the Era of Enlightenment. *Kor. J. Med. Hist.* 2(2), 178-196

SHIN, Yong Cheol / SEONG, Woo Yong / KANG, Sok Kyun : A Study of Si-Dong and So-Seng Diseases. *J. Kor. Med. Class. Med. Hist.* 7, 35-41

KIM, Dal-Ho : The Literary Study on the Written Date and the Background of Sa-Ahm's 5 Element Acupuncture Method. *J. Kor. Med. Class. Med. Hist.* 7, 113-160

PARK, Jong-Woon : A Statistical Study on the Contents of Theses of Oriental Medicine. *J. Kor. Med. Class. Med. Hist.* 7, 161-197

BACK, Sang Ryong : Study on True nature of the Fung and That of application to the Medicine. *J. Kor. Med. Class. Med. Hist.* 7, 198-231

## 62 欧文文献

ARNOLD, David : Social Crisis and Epidemic Disease in the Famines of Nineteenth-Century India : *So. Hist. Med.* 6(3)385-404

ASPIN, Richard K. : The Papers of Sir Thomas Barlow, Bt, KCVO, FRS, PRCP, (1845-1945) : *Med. Hist.* 37(3) 333-340

BAKEWELL, Sarah : The Life and Times of the Myers Collection : *Med. Hist.* 37(2)197-201

BALDWIN, Martha R. : Toads and Plague: The Amulet Controversy in Seventeenth-Century Medicine : *Bull. Hist. Med.* 67(2)227-247

BLISS, Michael : Rewriting Medical History: Charles Best and the Banting and Best Myth : *J. Hist. Med. Allied Sci.* 48(3)253-274

BOS, Gerrit : The Miswāk, An aspect of Dental Care in Islam : *Med. Hist.* 37(1)68-79

BOS, Gerrit : Ibn al-Jazzār on Women's Diseases and Their Treatment : *Med. Hist.* 37(3)296-312

BROWN, Spencer H. : British Army Surgeons with West Indian and West African Service: a Prosopographical Evaluation : *Med. Hist.* 37(4)411-431

BURNHAM, John C. : Presidential Address: The Past of the Future of Medicine : *Bull. Hist. Med.* 67(1)1-27

- CANTOR, David : Cortisone and the Politics of Empire: Imperialism and British Medicine, 1918-1955 : Bull. Hist. Med. 67(3)463-493
- CULE, John : The Enigma of Facial Expression: Medical Interest in Metoposcopy : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(3) 302-319
- DAVIDSON, Roger : Measuring "the Social Evil": the Incidence of Venereal Disease in Interwar Scotland : Med. Hist. 37(2)167-186
- DAVIDSON, Roger : 'A Scourge to Be Firmly Gripped': The Campaign for VD Controls in Interwar Scotland : So. Hist. Med. 6(2)213-236
- DAVIS, Clark : Called by God, Led by Men: Women Face the Masculinization of American Medicine at the College of Medical Evangelists, 1909-1922 : Bull. Hist. Med. 67(1)119-148
- DELACY, Margaret : The Conceptualization of Influenza in Eighteenth-Century Britain: Specificity and Contagion : Bull. Hist. Med. 67(1)74-118
- DINGWALL, Helen M. : 'General Practice' in Seventeenth-Century Edinburgh: Evidence from the Burgh Court : So. Hist. Med. 6(1)125-142
- DUPREE, Marguerite W. : Family Care and Hospital Care: the 'Sick Poor' in Nineteenth-century Glasgow : So. Hist. Med. 6(2)195-212
- ESTES, J. Worth : American Association for the History of Medicine: Report of the Sixty-sixth Annual Meeting : Bull. Hist. Med. 67(3)524-538
- FIGG, Laurann / FARRELL-BECK, Jane : Amputation in the Civil War: Physical and Social Dimensions : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(4)454-475
- FISHER, John R. : British Physicians, Medical Science, and the Cattle Plague, 1865-66 : Bull. Hist. Med. 67(4) 651-669
- FOX, Enid : An Honourable Calling or a Despised Occupation: Licensed Midwifery and Its Relationship to District Nursing in England and Wales before 1948 : So. Hist. Med. 6(2)237-260
- GARRISON, D. H./ HAST, M. H. : Andreas Vesalius on the Larynx and Hyoid bone: an Annotated Translation from the 1543 and 1555 Editions of *De humani corporis fabrica* : Med. Hist. 37(1)3-36
- GEVITZ, Norman : "Helps for Suddain Accidents": Stephen Bradwell and the Origin of the First Aid Guide : Bull. Hist. Med. 67(1)51-73
- GORDON, Eleanora C. : Sailors' Physicians: Medical Guides for Merchant Ships and Whalers, 1774-1864 : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(2)139-156

- GRENSEMANN, Hermann : Peliás, Columba livia, die Felsentaube, als Krankheitsname : Sudhoffs Arch. 77(1) 114-116
- GREY, Michael R. : Dustbowls, Disease, and the New Deal: The Farm Security Administration Migrant Health Programs, 1935-1947 : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(1)3-39
- HAMANAKA, Toshihiko / TAKAHASHI, Kiyoshi : Der Bewusstseinsbegriffinder Neuropsychiatrie und den Humanwissenschaften : Nagoya Medical Journal 38(1) 39-54
- HARDY, Anne : Cholera, Quarantine and the English Preventive System, 1850-1895 : Med. Hist. 37(3)250-269
- HARLEY, David : The Beginnings of the Tobacco Controversy: Puritanism, James I, and the Royal Physicians : Bull. Hist. Med. 67(1)28-50
- HARLEY, David : Pious Physic for the Poor: the Lost Durham County Medical Scheme of 1655 : Med. Hist. 37(2)148-166
- HARLEY, David N. : Medical Metaphors in English Moral Theology,1560-1660 : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(4)396-435
- HARRIS, Bernard : The Demographic Impact of the First World War: An Anthropometric Perspective : So. Hist. Med. 6(3)343-366
- HELMSTADTER, Carol : Robert Bentley Todd, Saint John's House, and the Origins of the Modern Trained Nurse : Bull. Hist. Med. 67(2)282-319
- HORDEN, Peregrine : Responses to Possession and Insanity in the Earlier Byzantine World : So. Hist. Med. 6(2) 177-194
- HOWELL, Joel D. : The Purchase of Health Care by Selected American Households in 1917-1919: A Machine-Readable Source : Bull. Hist. Med. 67(4)696-702
- JASIN, Joanne : The Transmission of Learned Medical Literature in the Middle English *Liber uricisariusum* : Med. Hist. 37(3)313-329
- JENSEN, Kimberly : Uncle Sam's Loyal Nieces: American Medical Women, Citizenship, and War Service in World War I : Bull. Hist. Med. 67(4)670-690
- KASS, Amalie M. : The Obstetrical Case Book of Walter Channing, 1811-1822 : Bull. Hist. Med. 67(3)494-523
- KROLL, Jerome / BACHRACH, Bernard : Justin's Madness: Weak-Mindedness or Organic Psychosis? : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(1)40-67
- KUH, Diana / SMITH, George Davey : When is Mortality Risk Determined? Historical Insights into a Current Debate : So. Hist. Med. 6(1)101-124
- LANE, Joan / TARVER, Anne : Henry Fogg (1707-1750)

- and His Patients: the Practice of an Eighteenth-Century Staffordshire Apothecary : Med. Hist. 37(2)187-196
- LEE, Jong-Chan : The Politics of National Health Insurance in South Korea, 1961-1989 : Dissertation Submitted to the School of Hygiene and Public Health of the Johns Hopkins University
- LENEMAN, Leah : Lives and Limbs: Company Records as a Source for the History of Industrial Injuries : So. Hist. Med. 6(3)405-428
- LERNER, Barron H. : Abdominal Paracentesis: A Casuality of Reductionist Medical Therapeutics : Bull. Hist. Med. 67(3)439-462
- LOUIS, Elan D. : The Origins of the Term "Extrapyr-amidal" within the Context of Late Nineteenth-and Early Twentieth-Century Neurology, Neurophysiology, and Neuropathology : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(1)68-79
- LOWIS, George W. : Epidemiology of Puerperal Fever: the Contributions of Alexander Gordon : Med. Hist. 37(4) 399-410
- MARKEL, Howard : Cholera, Quarantines, and Immigration Restriction: The View from Johns Hopkins, 1892 : Bull. Hist. Med. 67(4)691-695
- MARLAND, Hilary : A Pioneer in Infant Welfare: The Huddersfield Scheme 1903-1920 : So. Hist. Med. 6(1)25-50
- McLAREN, Angus : Privileged Communications: Medical Confidentiality in Late Victorian Britain : Med. Hist. 37(2)129-147
- MEPHAM, T. B. : "Humanizing" Milk: the Formulation of Artificial Feeds for Infants (1850-1910) : Med. Hist. 37(3) 225-249
- MEYNELL, Guy : Sydenham, Locke and Sydenham's *De peste sive febre pestilentiali* : Med. Hist. 37(3)330-332
- MICHEL, Wolfgang : Frühe westliche Beobachtungen zur Moxibustion und Akupunktur : Sudhoffs Arch. 77(2)193-222
- MITCHELL, Harvey / KOTTEK, Samuel S. : An Eighteenth-Century Medical View of the Diseases of the Jews in Northeastern France: Medical Anthropology and the Politics of Jewish Emancipation : Bull. Hist. Med. 67(2)248-281
- MOORE, Keith : Some Recently Acquired Papers of Robert Whytt(1714-1766) FRS : Med. Hist. 37(1)80-86
- MOORE, Keith : Nicholas Gainsford: His Book : Med. Hist. 37(4)442-447
- NANCE, Brian K. : Determining the Patient's Temperament: An Excursion into Seventeenth-Century Medical Semeiology : Bull. Hist. Med. 67(3)417-438
- NEUSHUL, Peter : Science, Government, and the Mass

- Production of Penicillin : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(4) 371-395
- OEHME, Johannes : Zur Habilitation von Otto Heubner, dem Gründer der Leipziger Kinder-Klinik(Wann und wodurch wurde O. Heubner habilitiert?) : Sudhoffs Arch. 77(2)236-239
- OGILVIE, Marilyn B./ CHOQUETTE, Clifford J. : Western Biology and Medicine in Modern China: The Career and Legacy of Alice M. Boring (1883-1955) : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(2)198-215
- PATTERSON, K. David : Typhus and its control in Russia, 1870-1940 : Med. Hist. 37(4)361-381
- PAXTON, Frederick S. : *Signa Mortifera*: Death and Prognostication in Early Medieval Monastic Medicine : Bull. Hist. Med. 67(4)631-650
- PIETERS, Toine : Interferon and Its First Clinical Trial: Looking behind the Scenes : Med. Hist. 37(3)270-295
- POTTER, Brian: The History of the Disease Called Lupus: J. Hist. Med. Allied Sci. 48(1)80-90
- POULTER, Margaret : The Archives of the British Red Cross : So. Hist. Med. 6(1)143-148
- RATZAN, Richard M. / FERNGREN, Gary B. : A Greek Progymnasma on the Physician-Poisoner : J. Hist. Med. Allied Sci. 48(2)157-170
- ROSENSCHON, Ursula : Sechs Seiten medizinischer Rezepte im glagolitischen Psalter 3/N des Sinaiklosters : Sudhoffs Arch. 77(2)129-159
- RUSSELL, Nicholas : Independent Discovery in Biology: Investigating Styles of Scientific Research : Med. Hist. 37(4)432-441
- RUTTEN, Willibrord : Smallpox, Subfecundity, and Sterility: a Case Study from a Nineteenth-Century Dutch Municipality : So. Hist. Med. 6(1)85-100
- SACKMANN, Werner : Eine bisher unbekannte Handschrift der Mulomedicina Chironis aus der Basler Universitätsbibliothek : Sudhoffs Arch. 77(1)117-120
- SAUERBECK, Karl O. : Ärztesatire und Patientenschelte im alten Nürnberg. Hans Sachs und die Ärzte : Sudhoffs Arch. 77(2)160-173
- SAVONA-VENTURA, C. : Caesarean Section in the Maltese Islands : Med. Hist. 37(1)37-55
- SCHWARZMANN-SCHAFHAUSER, Doris : Zwei Bildnisse des Orthopäden Johann Georg Heine (1771-1838) : Sudhoffs Arch. 77(2)223-230
- SCULL, Andrew : *Museums of Madness* Revisited : So. Hist. Med. 6(1)3-24
- SHAHAR, Shulamith: Who Were Old in the Middle Ages?: So. Hist. Med. 6(3)313-342

- SHEAIL, John : 'Deadwells', Urban Growth and the Threat to Public Health: An Interwar Perspective : *So. Hist. Med.* 6(3)367-384
- SIMMER, Hans H. : Der junge Rudolf Virchow und die Gesellschaft für Geburtshilfe in Berlin in den Jahren 1846 bis 1848 : *Sudhoffs Arch.* 77(1)72-96
- SISTRUNK, Timothy G. : The Function of Praise in the Contract of a Medieval Public Physician : *J. Hist. Med. Allied Sci.* 48(3)320-334
- SMITH, Philippa M. : Mothers, Babies, and the Mothers and Babies Movement: Australia through Depression and War : *So. Hist. Med.* 6(1)51-84
- SMITH, Russell : The Development of Ethical Guidance for Medical Practitioners by the General Medical Council : *Med. Hist.* 37(1)56-67
- SOURKES, Theodore L. : John Simon, Robert Lowe, and the Origin of State-Supported Biomedical Research in Nineteenth-Century England : *J. Hist. Med. Allied Sci.* 48(4)436-453
- STAMM-KUHLMANN, Thomas : Die Tagebücher Karl August von Hardenbergs als Quelle zur Geschichte des tierischen Magnetismus in Preussen : *Sudhoffs Arch.* 77(2)231-235
- STEFAN, Hans-Georg : Der Chirurg von der Weser(ca. 1200-1265)—ein Glücksfall der Archäologie und Medizingeschichte : *Sudhoffs Arch.* 77(2)174-192
- STOLBERG, Michael : Die Lehre vom "calor innatus" im lateinischen Canon medicinae des Avicenna : *Sudhoffs Arch.* 77(1)33-53
- STOLLBERG, Gunnar : Health and Illness in German Worker's Autobiographies from the Nineteenth and Early Twentieth Centuries : *So. Hist. Med.* 6(2)261-276
- SUMMERS, William C. : Cholera and Plaguè in India: The Bacteriophage Inquiry of 1927-1936 : *J. Hist. Med. Allied Sci.* 48(3)275-301
- TOMKINS, S. M. : Palmitate or Permanganate: The Venereal Prophylaxis Debate in Britain, 1916-1926 : *Med. Hist.* 37(4)382-398
- ZIMMERMAN, Jonathan : "When Doctors Disagree": Scientific Temperance and Scientific Authority, 1891-1906 : *J. Hist. Med. Allied Sci.* 48(2)171-197